関西医科大学リハビリテーション学部

学生の確保の見通し等を記載した書類

目次

1. 学生確保の見通し及び申請者としての取組状況 3
（1）学生確保の見通し 3
①定員充足の見込み 3
②定員充足の根拠となる調査結果の概要 5
③学納金の設定の考え方 7
2. 学生確保に向けた具体的な取組状況 7
（1）取組状況 7
（2）オープンキャンパスの実施 8
（3）入試説明会の実施 9
（4）ホームページ等における情報提供の充実 9
（5）高校訪問 9
3. 人材需要の動向等社会の要請 10
（1）人材の養成に関する目的その他の教育研究上の目的 10
（2）上記（1）が社会的、地域的な人材需要の動向等を踏まえたものであることの客観的な根拠 10
①社会的な人材需要の見通し 10
②地域的な理学療法士・作業療法士需給見通し 14

学生の確保の見通し等を記載した書類

1. 学生確保の見通し及び申請者としての取組状況

（1）学生確保の見通し

①定員充足の見込み

　関西医科大学（以下、「本学」という）リハビリテーション学部理学療法学科及び作業療法学科の入学定員の設定については、大阪府におけるリハビリテーション学部の設置状況及び全国的なリハビリテーション学部への志願者数や、卒業生の進路先と想定される近畿圏における医療機関へのアンケート結果、それに加え医療職の育成を担う附属医療機関を複数有する本学の環境等や国や大阪府が介護の将来像として推進する「地域包括ケアシステム」等今後の社会情勢等を踏まえ総合的に勘案し、理学療法学科 60 名、作業療法学科 40 名とした。

なお既設学部である医学部及び看護学部の志願者は実近 3 年の平均で、医学部は入学定員 127 人に対し志願者 5,853 人、看護学部は入学定員 100 人に対して志願者 567 人と入学定員を上回る志願者を確保している。

1)新設学部を設置する大学等の現状把握・分析

本学の設置主体である学校法人関西医科大学は、関西医科大学（既設学部：医学部、看護学部）、附属病院、総合医療センター、香里病院、くずは病院、天満橋総合クリニックなどの医療機関を始め、医療機関に訪問看護ステーション、居宅介護支援事務所、通所リハビリ部門を設け、医療分野のみならず福祉分野を始め、法人の位置する大阪府北東部である北河内地区（枚方市、寝屋川市、交野市、守口市、門真市、四條畷市、大東市）において、医療・介護・福祉分野を通じて地域に貢献している。

本学の既設学部である医学部においては、卒業した学生は初期研修医から医師としてのキャリアを始め、その後後期研修医を経て、医師としてのキャリアを重る。また大学院に進学し基礎医学、臨床医学についての研究を深めるものもいる。

平成 30 年に開設した看護学部では、まだ完成年度を迎えていないが、学生全員が卒業時に看護師免許と保健師免許の国家試験受験資格を得ることができるため、卒業生の多くは保健・医療・福祉分野で活躍することが予想される。また助産師コース（選抜制）を設けており、助産師コースを選択した学生は将来助産師として活躍することも可能である。

このように本法人では、幅広く医療、介護、福祉分野に関わる人材を育成し、輩出している。今後、本学が位置する北河内、大阪の近隣地区を始め、日本において、高齢化が進むため、法人、大学として今後の日本の医療を支える医療、介護、福祉、リハビリテーションに関わる人材を育成し、地域医療の発展に貢献するとともに、地域の医療機関における実習等を通じて更なる学生教育に繋げる。

2）全国におけるリハビリテーション学部の状況

文部科学省「学校基本調査」の高等教育機関の調査によると、国公私立大学全学部における志願者数（統計表「関係学科別　入学者数」、平成 27 年度～平成 31 年度）の伸び率は 26.3％であるのに対し、保健系の伸び率は 4.1％となっている。保健系における国立大学の伸び率が-7.1％の一方、公立大学は 9.2％、私立大学は 5.2％となっており、保健系の志願者の伸び率が公立大学と、私立大学によることが分かる。【資料 1】。

なお、私立大学のみの傾向については、日本私立学校振興・共済事業団「私立大学・短期大学入学者志願動向」（平成 22 年度～平成 31 年）の学部系統別の動向によると、全学部の志願者の伸び率が、同期間において 39.16%であるのに対し、保健系は 76.16%と高い伸び率を示しており、志願倍率についても同期間において、5 倍を上回っている。保健系の集計学部数が同期間において 70.5%増加したことを考慮しても、保健系に対する志願者が安定して存在することを示している。【資料 2】

我が国の 18 歳人口は上記期間に 122 万人（平成 22 年）から 117 万人（平成 31 年）へと 5 万人減少しているが（文部科学白書 2018：図表 2-5-1「18 歳人口と高等教育機関への進学率の推移」）、前述の通り志願者の伸び率は増加しており、また志願倍率も安定して 5 倍を超えている。同白書によれば、今後 5 年後の令和 6 年には 18 歳人口は 106 万人、令和 11 年には 107 万人と減少することが予想されているが、今後も保健系を志望する志願者は安定した推移を示すと思われるため、長期的な志願者確保については問題がないと思われる。

3）近隣地区におけるリハビリテーション系大学の設置状況

本学が位置する大阪府の私立大学におけるリハビリテーション学部の設置状況は理学療法学科及び専攻を持つ大学が、11 大学（藍野大学、大阪河﨑リハビリテーション大学、大阪電気通信大学、大阪人間科学大学、大阪保健医療大学、大阪行岡医療大学、関西医療大学、関西福祉科学大学、四條畷学園大学、森ノ宮医療大学、大和大学）である。一方、作業療法学科及び専攻を持つ大学は 8 大学（藍野大学、大阪河﨑リハビリテーション大学、大阪保健医療大学、関西医療大学、関西福祉科学大学、四條畷学園大学、森ノ宮医療大学、大和大学）である。

学部に学科を設けている大学と、学科に専攻を設けている大学があるため、大阪地区における志願状況は、学科及び専攻ごとのデータが公表されていない場合、集計することは不可能である。そのため、11 大学における学部単位での比較としている（理学療法学科のみを持つ大学は大阪電気通信大学、大阪人間環境大学、大阪行岡医療大学の 3 大学）。

これらの 11 大学における志願者、入学定員から倍率を算出した場合、4.4 倍となり本学が枚方市にリハビリテーション学部（入学定員 100 名）を新たに設置した場合でも学生のニーズは十分にあると思われる。また、理学療法学科及び専攻別の志願者を公表している前述の 10 大学での倍率は 5.1 倍、同様に作業療法学科及び専攻別の志願者を公表している 8 大

学での倍率は 3.3 倍となっており、学科別に比較してもニーズはあると予測される【資料 3-1、3-2、3-3】。

本学リハビリテーション学部が位置する牧野キャンパス（大阪府枚方市）は大阪、京都の中心部から京阪本線を利用して 1 時間以内でアクセスすることができ、立地については問題がない。また大阪府下における前述の 11 大学の設置場所は、府下にそれぞれ点在しており、北河内地区（枚方市、寝屋川市、交野市、守口市、門真市、四條畷市、大東市）には前述の 11 大学のうち 2 大学がキャンパスを置いているが、本学が位置する京阪本線沿いに位置する大学はない。また主要な実習施設である附属病院、総合医療センター、香里病院及びくずは病院についても京阪本線沿いに位置しており、通学や実習の利便性を考慮した場合、受験者にとって魅力的であるといえる。

既設学部である医学部、看護学部との合同科目も設けており、学生は医師、看護師・保健師を目指す学生と多職種連携について早期から学ぶことができることも、本学の特色である。本学リハビリテーション学部の卒業時に理学療法学科では理学療法士国家試験受験資格、作業療法学科では作業療法士国家試験受験資格を得る事ができる。

また本学の有する附属病院（枚方市）は大阪府の北河内医療圏（大阪府下二次医療圏のうちの 1 つ）において唯一の特定機能病院として厚生労働大臣から承認を受けており、高度先端の医療の提供、高度の医療技術の開発および研修を実施する能力等を備えた病院であり、本学において高度の医療を提供することができるリハビリテーション職を育成することは意義があると思われる【資料 4】。また本学の附属医療機関としては北河内医療圏の基幹病院である総合医療センター、地域に密接した香里病院、回復期リハビリテーションや在宅介護支援などを提供しているくずは病院、健康診断を実施している天満橋総合クリニック、関医訪問看護ステーション等がある。

附属医療機関はそれぞれに特色を備えているが、リハビリテーション学部の設置において重要な点は、本学の附属医療機関において、超急性期病院から、急性期、亜急性期、慢性期から回復期を通じ、様々な疾病を持つ人々や疾病を見ることができることである。

さらにはくずは病院では通所リハビリテーションを実施しており、これら附属医療機関で実習を行うことは、様々な状態の健康状態を知ることができ、理学療法士、作業療法士として卒業後地域を問わず、様々な場で医療職としての活躍が期待される。

②定員充足の根拠となる調査結果の概要

本学リハビリテーション学部への入学ニーズを把握するため、第三者機関である株式会社紀伊國屋書店及び株式会社高等教育総合研究所に委託し、本学リハビリテーション学部が開設予定の令和 3 年 4 月に大学進学を迎える高校 2 年生を対象に、アンケート調査を実施した。調査期間は令和元年 10 月令和 2 年 1 月、近隣の 2 府 4 県（大阪府、京都府、兵庫県、奈良県、和歌山県、滋賀県）の高等学校のうち 450 校に調査協力依頼をし、承諾の得られた 49 校の 2 年生 4,038 人を対象に、無記名・選択肢式のアンケートを行った【資料 5】。

主な結果は以下の通りである。

1）高校生卒業後の進路希望について

高校卒業後の希望進路については、91.2%(3,681 名)の「大学」が突出して多く、3.0%(123 名)の「就職」、5.3%(212 名)の「現時点では未定」と続き、「無回答」が 0.5%(22 名)であった。

興味のある学問分野については、リハビシテーションを含む「保健衛生学」が、24.3%(982 名)と最多であり、23.3%(940 名)の「理学・工学」が続き、以下主な回答としては、19.5%(786 名)の「人文科学」、18.1%(731 名)の「社会科学」、16.7%(675 名)の「教育学・保健」となっている。

関心のある学問分野に対する回答については、構成比に顕著な偏りは見られなかったが、リハビリテーションを含む「保健衛生学」に関心を持つ高校生が多く、既設学部である医学部、看護学部を持つ関西医科大学がリハビリテーション学部を開設することは、高校生にとって魅力的であるといえる。

2）本学リハビリテーション学部への入学意向について

本調査において関西医科大学を「受験したい（関西医科大学に入学したい)」と回答したのは 66 名(1.6%)であり、併願先として関西医科大学を検討している「受験したい（関西医科大学は入学先の選択肢の一つ)」と回答したのは 227 人（5.6%）であった。「受験したい（関西医科大学に入学したい)」と回答した者は本学が第一志望であると考えられ、さらに入学したい学科についてさらに質問したところ、「理学療法学科」を希望する者が 24 名(36.4%)、「作業療法学科」を希望する者が 13 名（19.7%）であった。

また「受験したい（関西医科大学は入学先の選択肢の一つ)」と回答した者については、関西医科大学を受験する場合の選択肢となる学部・学科について質問した。「リハビリテーション学部　理学療法学科」と回答した者は 92 名（40.5%）であり、「リハビシテーション学部　作業療法学科」と回答した者は 84 名（37.0%）であった。

これらにより、理学療法学科の入学 60 名に対して専願層 24 名と併願層 92 名合わせて 116 名 が、作業療法学科については入学 40 名に対して専願層 13 名と併願層 84 名合わせて 97 名の志願者が見込まれ、定員充足が見込まれる。しかし、併願先の結果によっては入学を辞退する可能性があるため、それぞれの併願層の志願者数見込みに「私立大学保健系の全体の入学定員・志願・合格・入学状況数（2010～2019 年)」に基づく歩留率を乗じ、改めて再計算したところ理学療法学科 48 名（92 名×0.522)、作業療法学科 43 名（84 名×0.522）となり、専願層と合わせると理学療法学科が入学定員 60 名に対して 72 名、作業療法学科が入学定員 40 名に対して56 名となり、入学定員を満たしている。

一方であなたは新しい学部が開設される関西医科大学を受験したいと思いますか。との質問に対し、「現時点では予定にない」と回答した 3689 名（91.4%）に対して、理由を質問したところ、「リハビシテーション学部　理学療法学科（仮称）に興味・関心はあるが、詳細を知った上で検討したいから」と回答した者が 179 名（4.9%)、「リハビシテーション学部

作業療法学科（仮称）に興味・関心はあるが、詳細を知った上で検討したいから」と回答した者が81名(2.2%)いた。これらはリハビリテーション学部に関心を持つ者が存在していることが示唆され、今後の広報活動により本学リハビリテーション学部の特色等詳細な情報を発信することにより、志願者となることが想定される。

なお、先に算出した併願層の見込みについては、「私立大学保健系の全体の入学定員・志願・合格・入学状況数（2010～2019　年)」に基づく数値であり全国的な動向である。そのため前述の本学の位置する大阪府の私立大学におけるリハビリテーション系学部の定員充足率を参照すると【資料6-1、6-2】、理学療法学科及び専攻別の収容定員及び在籍者数を公表している 9大学での定員充足率は1.04 で、そのうち7大学は 1.00以上、残る2大学も 0.94以上と高い水準といえる。同様に作業療法学科及び専攻別の志願者を公表している 8 大学での定員充足率は0.94 で、そのうち4大学が 1.00以上、4大学が 1.00以下となっているが、平均すると0.94以上で高い水準にあるといえる。

前述の大阪府下における北河内地区（枚方市、寝屋川市、交野市、守口市、門真市、四條畷市、大東市）には理学療法学科及び専攻と作業療法学科及び専攻を持つ大学のうち2大学のみがキャンパスを置いているが、本学が位置する京阪本線沿いではないため、当該大学を含め大阪府下の志願者のうち京阪沿線に居住する受験者については、通学の利便性を考慮し、北河内地区にある本学を志願することが予想される。

また、大阪府下のリハビリテーション系大学において医学部・看護学部・リハビリテーション学部の3学部を持つ大学が他になく、3学部の合同授業や、超急性期病院から、急性期、亜急性期、慢性期から回復期まで様々な病床機能を持つ附属医療機関を本学が擁していることを考慮した場合、これらの特色を踏まえ新たな志願者も想定され、後述する高校訪問等の広報活動も積極的に実施することを考慮した場合、定員の充足見込みは十分にあると思われる。

③学納金の設定の考え方

学生納付金については、近隣の私立大学リハビリテーション学部における学生納付金の設定状況を参考に、大学運営にかかる財務的な状況や学生納付金等の学生の教育研究環境の充実等を勘案した上で入学金20万円、授業料110万円とした。近隣の私立9大学の入学金の平均は約24万円、授業料は158万円となっている【資料6】。

2.学生確保に向けた具体的な取組状況

（1）取組状況

本学医学部及び看護学部は学生募集として、大学案内を始めとする志願者向け媒体やホームページによる情報提供、進学説明会等における受験生との個別相談など積極的に活動を行っている。またマスメディアを始めとする広報活動やオープンキャンパスなども実施

している。新たに設置されるリハビリテーション学部では、原則として既存学部である医学部及び看護学部の学生募集活動に倣う。

看護学部開設以後は、医科単科大学に新たに看護学部が開設されたため、新たな志願者確保として高校訪問を積極的に実施した。またホームページにおける情報発信のみならず SNS 等を用い、志願者とのコミュニケーションを積極的に図る等の取り組みを行った。今般新たにリハビリテーション学部が開設されるため、医学部及び看護学部の志願者の分析を行い、既に実施されている取り組みの有効性について検討し、必要に応じて新たな学生募集活動を検討する。

なお、大学の取組みとして、令和元年度には全国紙（朝日新聞[12/28:大阪本社セット版（朝刊)、1/4:大阪本社セット版（朝刊）]、読売新聞（1/4:大阪本社セット版（朝刊))、毎日新聞[12/22:大阪本社セット版（朝刊)、1/5:大阪本社セット版（朝刊）]、日本経済新聞[11/30:大阪本社版（朝刊、12/24:大阪本社版（朝刊]、1/8:大阪本社版（朝刊）]、地方紙（静岡新聞[12/24:全県版（朝刊）]、新潟日報[12/22:全県版（朝刊）]）合わせて 10 回出稿しており、学校法人、関西医科大学としての広報活動を実施している。

（2）オープンキャンパスの実施

既存学部である医学部では年に 2 回（7 月、8 月)、看護学部では 3 回（6 月、7 月、8 月）オープンキャンパスを実施し、シミュレーションセンター等医療職の育成に必要となる学内施設を始めとする医学部棟見学や、主たる実習先となる隣接の附属病院の見学等を行っている。各学部のオープンキャンパス参加者は以下の通りである。

医学部オープンキャンパス参加者

	7 月 28 日	8 月 3 日
参加者数	473 人	287 人

看護学部オープンキャンパス参加者

	6 月 2 日	7 月 27 日	8 月 18 日
参加者数	237 人	400 人	605 人

平成 30 年に開設した看護学部では、演習で使用する基盤看護研修室や、学生の演習の様子を録画し振り返り学習が可能な統合看護研修室で血圧測定やシミュレーターを使用した模擬看護体験をすることで、看護職をイメージできるようにしている。また、在学生と参加者との対話の場を設け、入学後の学びや課外活動について広報している。

オープンキャンパスでは医学部及び看護学部教員による模擬授業や、外部資金の獲得による研究活動のパネル展示、産学連携の成果物など本学の教育研究活動を参加者に幅広く紹介している。看護学部のオープンキャンパスでは、実際に看護師が勤務している附属病院

の病棟棟を見学することで具体的な看護職をイメージできるようにしており、リハビリテーション学部についても、附属病院のリハビリテーションセンターを見学し、理学療法、作業療法がどのようなものであるかを理解できるようにする。またオープンキャンパスで本学リハビリテーション学部の特色や学びの環境をオープンキャンパス参加者に伝える予定である。

（3）入試説明会の実施

既存学部である医学部を持つ大学は全国で国公私立を合せ 82 大学だけであるため、現在の入試説明会は主に医学部の受験希望者を対象として、大阪府を始めとし、地方入試会場である東京、愛知、福岡等での入試説明会に参加している。一方で平成 30 年に開設した看護学部では既存学部である医学部とは志願者層が異なるため、志望する学生を対象として開催される医療系学部及び看護系学部への進学希望者を対象とする入試説明会等へ参加し、志願者の確保に努めてきた。また看護学部では開設以降高校の進路指導教員向けの進学説明会を枚方キャンパス（年 2 回）で実施し、入試制度や入試科目等の広報活動を行い、本学の看護学部の教育上の特色を伝え、志願者確保に取り組んでいる。リハビリテーション学部についても同様に医療系学部への進学を希望する学生を対象とした入試説明会等に参加し、高校の進路指導教員向けの進学説明会を実施する予定である。

（4）ホームページ等における情報提供の充実

現在の本学ホームページでは訪問者別に分かり易いコンテンツを準備し、情報提供を行っている。既設学部である医学部及び看護学部については教育研究情報としてシラバス等を公開しており、リハビリテーション学部においても同様の情報公開を行い、学生が自身の学修計画を立てやすいように配慮する予定である。本学ホームページでは学舎の建物内を閲覧できるようグーグルインドアビューを導入しており、志願者の関心に沿うコンテンツの拡大を図っている。

（5）高校訪問

医学部では、定員 127 名（令和 2 年）に対して毎年 3,000 名（平成 30 年～令和 2 年入試）を超える受験者があり、学生確保に問題はないため、現在個別の高校訪問は実施していないが、平成 30 年に開設した看護学部については、近隣地域に看護学部が多数あることを考慮して学生確保に向け、看護学部や附属病院を含めた本学の特色等の告知を主に近隣の高校訪問（平成 29 年度 62 校、平成 30 年度 27 校、平成 31 年度 141 校）を実施しており、また進学相談会等に参加することで志願者の確保に努めている。

開設以降の看護学部の志願者は平成 30 年入試で 474 人、平成 31 年入試で 517 名、令和 2 年入試で 711 名と入学定員の 100 名を十分に超える志願者がある。前述の高校の進路指導教員向け進学説明会や高校訪問等により、開設以降看護学部の志願者は増加している。看護学部では、本学が看護師国家試験受験資格と保健師国家試験受験資格、助産師国家試験受験資格（選択制）の最大 3 つの国家試験受験資格を得られること、シミュレーターを使用した最新の教育を実施していること等教育に関することを始め、奨学金等学生生活の支援など

本学看護学部の特色を高校訪問時に伝えている。

新設学部であるリハビリテーション学部についても、積極的に高校訪問を行い、理学療法士国家試験受験資格と作業療法士国家試験受験資格のみならず、理学療法士及び作業療法士の具体的な職業についての説明や本学リハビリテーション学部のカリキュラムの特色等について説明を行い、学生確保に努める予定である。

3. 人材需要の動向等社会の要請

(1) 人材の養成に関する目的その他の教育研究上の目的

本学は「慈仁心鏡」、すなわち慈しみ・めぐみ・愛を心の規範として生きる医療人を育成することを建学の精神とし、自由・自律・自学を学風としている。そのため新たに新設するリハビリテーション学部においても本学の精神である慈しみ・めぐみ・愛に基づいた豊かな人間性と、リハビリテーションに必要な能力を身につけ、社会に貢献できる人材を育成する。

リハビリテーション学部では、理学療法士・作業療法士それぞれに必要となる知識と技術の修得のみならず、今後それぞれに共通して必要となる AI（Artificial Intelligence）やプログラミングについての基礎的知識を持つ医療職を育成し、これまでの病院や診療所等で行われていた医療施設内での患者を対象とするリハビリテーションに留まらず、自宅や患者が生活している場に応じてリハビリテーションを実践できる力を養う教育を目指している。

本学では様々な役割を担う附属医療機関を擁しており、急性期から慢性期、回復期まで様々な役割を担っており、高齢化社会を迎える我が国におけるリハビリテーションの場を考慮した場合、本学リハビリテーション学部では急性期病院から亜急性期を経て、回復期までの患者の経過を看ることができ、同一大学内で役割が異なる医療機関において様々な対象者に関わることは、学生の将来を考える上で有益である。

(2) 上記（1）が社会的、地域的な人材需要の動向等を踏まえたものであることの客観的な根拠

①社会的な人材需要の見通し

・理学療法士

現在、医療技術・機器の高度化などにより介護領域へのニーズが多様化・複雑化していることに加え、今後は医療提供体制が在宅へシフトすると見込まれており、行政による地域包括ケアシステムの構築が進められている。

施設ごとの理学療法士の就労者数（常勤換算）及び高齢化率からは、病院、一般診療所及び介護サービス施設で勤務する理学療法士の数は、それぞれ平成 14 年から平成 29 年までに 56,410 人（病院）、9,798 人（一般診療所）、26,821 人（介護サービス施設）とそれぞれ、大幅に増加し、当該期間の伸び率は 256.1%（病院）、283.3%（一般診療所）、

305.8%（介護サービス施設）となっており、高齢化率の高まりに合わせ、理学療法士の就業場所が介護サービス施設等の高齢者を対象とした施設への就業が増加していると同時に、病院及び一般診療所の就業者数（常勤換算）も増加している（厚生労働省「医療施設調査」、「病院報告」及び「介護サービス施設・事業所調査」による）。

前述の社会保障制度改革国民会議における医療・介護制度関係参考資料（第10回参考資料）に示されているように、我が国の将来像として医療介護機能は、一般病床、療養病床、介護施設、居宅系サービス、在宅サービスが、将来高度急性期、一般急性期、亜急性期等、長期療養、介護施設、居宅系サービス、住宅サービスへと再編されることが明示されており、“「施設」から「地域」へ・「医療」から「介護」へ”のシフトを考慮した場合、今後も高齢化率の高まりに合わせ、理学療法士の需要は高まると想定される。

一方で理学療法士の需給については、厚生労働省「医療従事者の需給に関する検討会理学療法士・作業療法士分科会」（平成28年8月5日）では、今後の理学療法士・作業療法士の需給見通しにおける需給推計について、「医療分野に従事するPT・OT」、「介護分野に従事するPT・OT」、「その他の分野に従事するPT・OT」に分け、需給見通しを推計することが議論されており、同分科会の資料（第3回理学療法士・作業療法士需給分科会。平成31年4月5日）では理学療法士・作業療法士の需給推計について、前述の分野ごとに従事するPT・OTの推計に加え、労働時間の縮減や地域リハビリテーション活動支援事業等の要因も加味した上で、需給推計が算出されており、「PT・OTの供給数は、現時点においては、需要数を上回っており、2040年ごろには供給数が需要数の約1.5倍となる結果」が示されている。

同時に同分科会において四病院団体協会による理学療法士・作業療法士・言語聴覚士需給調査が資料（第2回理学療法士・作業療法士需給分科会。平成30年8月5日）として示されており、同資料において理学療法士については「現在、貴院において数は充足していますか」という質問に対し、基準上「はい」と回答した施設の割合は89.6%、採算上（経営上必要な人員数）「はい」と回答した施設の割合は60.4%、運営上（患者の状況に応じ必要な人員）「はい」と回答した施設の割合は45.6%となっており、これらの割合の違いについては患者さんに対し十分なリハビリが提供できていないことが推測される。

一方で「現在と比較して、2025年までに雇用を増やしていく予定ですか」という質問に対しては、現状のままが21.5%、増やしていくが38.8%、未定が39.3%、へらしていくが0.4%となっている。これらは同分科会でも議論されているが、2025年には需要が増加することを前提としながらも、未定の回答については、医療制度や診療報酬等により、理学療法士の増減が想定されていることが議論されている。

大阪府が平成28年3月に公表した大阪府地域医療構想（大阪府保健医療計画別冊）では、地域医療構想の基本的な考え方として“高齢化の進展に伴い、医療需要の増大が見込まれる中、高度急性期医療から在宅医療、介護までの一連のサービスを地域において総合的に確保する必要があり、医療機能の分科と連携を適切に推進”することとされ、同構想

では、平成 37 年（2025 年）の医療需要及び必要病床数の推計（概算）として平成 25 年（2013 年）と平成 37 年（2025 年）の増減が示されており、高度急性期（2013 年：7,921 （人／日）、2025 年：8,842（人／日）、2013 年比 1.12)、急性期（同：21,962（人／日）、同：27,335（人／日）、同比 1.24）、回復期（同：21,369（人／日）、同：28,228（人／日）、同比 1.32)、慢性期（同：22,221（人／日）、同：21,074（人／日）、同比 0.95)、在宅療養等（同：92,009（人／日）、同：160,848（人／日）、同比 1.75）となっており、中長期的にも高齢化の進展に伴い医療需要が増加することが予想される。医療機関の増加に加え、訪問リハビリテーションを含めた在宅医療等の増加も見込まれることから、本学の位置する大阪府では中長期的に理学療法士の需要が見込まれると推測される。

・作業療法士

現在、医療技術・機器の高度化などにより介護領域へのニーズが多様化・複雑化していることに加え、今後は医療提供体制が在宅へシフトすると見込まれており、行政による地域包括ケアシステムの構築が進められている。

地域包括ケアシステムでは　医療・介護・予防・住まい・生活支援が包括的に確保される体制の構築を目指しており、地域包括ケアシステムにおいて作業療法における移動・食事、排泄、入浴等の ADL 訓練や家事、外出等の IADL 訓練、あるいは医療機関退院後の住環境への適応訓練などが今後ますます必要とされる。

施設ごとの作業療法士の就労者数（常勤換算）及び高齢化率からは、病院、一般診療所及び介護サービス施設で勤務する作業療法士の数は、それぞれ平成 14 年から平成 29 年までに 33,281 人（病院）、1,608 人（一般診療所）、13,207 人（介護サービス施設）とそれぞれ、大幅に増加し、当該期間の伸び率は 280.1%（病院）、149.0%（一般診療所）、235.9%（介護サービス施設）となっており、高齢化率の高まりに合わせ、作業療法士の就業場所が介護サービス施設等の高齢者を対象とした施設への就業が増加していると同時に、病院及び一般診療所の就業者数（常勤換算）も増加している（厚生労働省「医療施設調査」、「病院報告」及び「介護サービス施設・事業所調査」による)。

前述の社会保障制度改革国民会議における医療・介護制度関係参考資料（第 10 回参考資料）に示されているように、我が国の将来像として医療介護機能は、一般病床、療養病床、介護施設、居宅系サービス、在宅サービスが、将来高度急性期、一般急性期、亜急性期等、長期療養、介護施設、居宅系サービス、住宅サービスへと再編されることが明示されており、“「施設」から「地域」へ・「医療」から「介護」へ”のシフトを考慮した場合、今後も高齢化率の高まりに合わせ、作業療法士の需要は高まると想定される。

一方で作業療法士の需給については、厚生労働省「医療従事者の需給に関する検討会理学療法士・作業療法士分科会」（平成 28 年 8 月 5 日）では、今後の理学療法士・作業療法士の需給見通しにおける需給推計について、「医療分野に従事する PT・OT」、「介護分野に従事する PT・OT」、「その他の分野に従事する PT・OT」に分け、需給見通しを推

計することが議論されており、同分科会の資料（第3回理学療法士・作業療法士需給分科会。平成31年4月5日）では理学療法士・作業療法士の需給推計について、前述の分野ごとに従事するPT・OTの推計に加え、労働時間の縮減や地域リハビリテーション活動支援事業等の要因も加味した上で、需給推計が算出されており、「PT・OTの供給数は、現時点においては、需要数を上回っており、2040年ごろには供給数が需要数の約1.5倍となる結果」が示されている。

同時に同分科会において四病院団体協会による理学療法士・作業療法士・言語聴覚士需給調査が資料として示されており、作業療法士については「現在、貴院において数は充足していますか」という質問に対し、基準上「はい」と回答した施設の割合は90.6%、採算上（経営上必要な人員数）「はい」と回答した施設の割合は　59.0%、運営上（患者の状況に応じ必要な人員）「はい」と回答した施設の割合は42.9%となっており、これらの割合の違いについては患者さんに対し十分なリハビリが提供できていないことが推測される。

一方で「現在と比較して、2025　年までに雇用を増やしていく予定ですか」という質問に対しては、現状のままが22.3%、増やしていくが42.4%、未定が35.0%、へらしていくが0.3%となっている。これらは同分科会でも議論されているが、2025年には需要が増加することを前提としながらも、未定の回答については、医療制度や診療報酬等により、作業療法士の増減が想定されていることが議論されている。

大阪府が平成　28　年3　月に公表した大阪府地域医療構想（大阪府保健医療計画別冊）では、地域医療構想の基本的な考え方として“高齢化の進展に伴い、医療需要の増大が見込まれる中、高度急性期医療から在宅医療、介護までの一連のサービスを地域において総合的に確保する必要があり、医療機能の分科と連携を適切に推進”することとされ、同構想では、平成37　年（2025　年）の医療需要及び必要病床数の推計（概算）として平成　25　年（2013年）と平成　37年（2025年）の増減が示されており、高度急性期（2013年：7,921（人／日）、2025　年：8,842（人／日）、2013　年比　1.12）、急性期（同：21,962（人／日）、同：27,335（人／日）、同比　1.24）、回復期（同：21,369（人／日）、同：28,228（人／日）、同比1.32）、慢性期（同：22,221（人／日）、同：21,074（人／日）、同比0.95）、在宅療養等（同：92,009（人／日）、同：160,848（人／日）、同比1.75）となっており、中長期的にも高齢化の進展に伴い医療需要が増加することが予想される。医療機関の増加に加え、訪問リハビリテーションを含めた在宅医療等の増加も見込まれることから、本学の位置する大阪府では中長期的に作業療法士の需要が見込まれると推測される。

本学リハビリテーション学部では、病院や診療所といった病院完結型から地域完結型へ変化する社会に対応できるハビリテーション職の育成を目指している。のための教育課程および、様々な特色をもつ附属医療機関等での臨地実習などを特色としており、社会的な人材需要の動向を踏まえたものと考えられる。

②地域的な理学療法士・作業療法士需給見通し

本学が位置する大阪府では第7次大阪府医療計画（2018年度～2023年度）において、第7次計画の基本的方向性として、“「住まい・医療・介護・予防生活支援が一体的に提供される地域の包括的な支援・サービス提供体制（地域包括ケアシステム）」の構築に向け、介護等と連携した医療体制の充実”があげられ、大阪府医療計画と介護の計画を含む大阪府高齢者計画との整合性を図るとされている。

一方、大阪府高齢者計画2018年において、団塊の世代が全員75歳以上となる「2025年」や団塊ジュニア世代（昭和46年～49年生まれ）が全員65歳以上となり介護需要のピークが見込まれている「2040年」にむけた大阪府の大きな方向性を示すとされている。具体的には「自立支援、介護予防・重症化防止」に対する課題として、“リハビリテーションの理念を踏まえた運動機能や栄養状態といった「心身機能」へのアプローチだけではなく、日常生活の「活動」、社会への「参加」の促進の観点から、高齢者一人一人の生きがいや自己現実のための取り組みを支援することを通じて、高齢者の生活の質（QOL）の向上を目指”すとされ、“リハビリテーション専門職等と連携した効果的な買い簿予防にかかる市町村の取組みを支援する”とされている。

③人材需要の見通し調査結果

養成する人材に対する社会的なニーズを把握するため、第三者機関である株式会社紀伊國屋書店及び株式会社高等教育総合研究所に委託し、本学リハビリテーション学部卒業予定者の採用意向についてのアンケート調査を実施した【資料7】。

調査は、近畿2府4県に所在する、病院と検診センター、通所・訪問リハビリテーション事業所、障がい者支援施設等、及び全国のスポーツ要因関連企業1,010件を対象として、採用担当者宛にアンケートを送付し、291件から回答を得た。調査期間は令和元年10月から令和2年1月、アンケートは匿名、選択肢式及び記述回答式とした。

1）理学療法士・作業療法士の充足状況について

回答のあった291件のうち、主な回答先は「病院・診療所」が145件（50%）、「介護老人保健施設」89件（30.6%）、「障がい者（児）施設」25件（9%）であった。充足状況については、理学療法士が「不足している」が31箇所（10.7%）、「やや不足している」が71箇所（24.4%）であった。一方作業療法士は「不足している」が69箇所（23.7%）、「やや不足している」が87箇所（29.9%）であった。

合計すると理学療法士では102箇所（35.1%）が、作業療法士では156箇所（53.6%）が不足している不足していると回答した。

2）採用意向についてのアンケート

本学が育成する理学療法士、作業療法士の採用意向、及び採用意向のある場合、現時点で採用可能と思われる人について質問した。

理学療法士の採用意向について「採用したい」と回答した機関・施設は 51 施設（17.5%）、「採用を検討したい」と回答した機関・施設は 93 件（32.0%）であった。さらに具体的な採用人数に質問したところ、1 人から 10 人の選択肢に対し、「採用したい」は 51 人、「採用を検討したい」が 93 人であり、合計 104 人の採用予定となった。なお採用可能人数に対して無回答の機関・施設については、1 名としている。

また作業療法士の採用意向について「採用したい」と回答した機関・施設は 70 施設（24.1%）、「採用を検討したい」と回答した機関・施設は 93 件（32.0%）であった。さらに具体的な採用人数に質問したところ、1 人から 10 人の選択肢に対し、「採用したい」は 70 人、「採用を検討したい」が 93 人であり、合計 163 人の採用予定となった。なお採用可能人数に対して無回答の機関・施設については、1 名としている。

以上により、本学リハビリテーション学部の卒業予定者に対する医療機関等からのニーズは高く、就職先についても十分に確保されていることが明確に示された。

資料 1

国公私立大学における入学定員、志願者、入学者数の推移

（全学部計）

全学部　国公私立	平成27年	平成28年	平成29年	平成30年	平成31年（令和元年）	平成27～31年（令和元年）までの伸び率
志願者数（人）	3, 983, 778	4, 151, 981	4, 414, 843	4, 723, 558	5, 032, 682	0. 263
入学者数（人）	617, 507	618, 423	629, 733	628, 821	631, 273	0. 022

全学部　国立	平成27年	平成28年	平成29年	平成30年	平成31年（令和元年）	平成27～31年（令和元年）までの伸び率
志願者数（人）	388, 323	387, 947	386, 075	382, 027	383, 757	-0. 012
入学者数（人）	100, 631	100, 146	99, 462	99, 371	99, 136	-0. 015

全学部　公立	平成27年	平成28年	平成29年	平成30年	平成31年（令和元年）	平成27～31年（令和元年）までの伸び率
志願者数（人）	152, 005	159, 575	161, 605	167, 023	170, 489	0. 122
入学者数（人）	30, 940	31, 307	31, 979	33, 073	33, 712	1. 069

全学部　私立	平成27年	平成28年	平成29年	平成30年	平成31年（令和元年）	平成27～31年（令和元年）までの伸び率
志願者数（人）	3, 443, 450	3, 604, 459	3, 867, 163	4, 174, 508	4, 478, 436	0. 301
入学者数（人）	485, 936	486, 970	498, 292	496, 377	498, 425	0. 026

文部科学省学校基本調査より作成
（統計表：「関係学部別　大学入学状況」より抜粋）

国公私立大学における入学定員、志願者、入学者数の推移

（保健）

保健　国公私立	平成27年	平成28年	平成29年	平成30年	平成31年（令和元年）	平成27～31年（令和元年）までの伸び率
志願者数（人）	492, 103	496, 328	503, 898	519, 586	512, 522	0. 041
入学者数（人）	68, 603	68, 637	70, 378	71, 461	73, 266	0. 068

保健　国立	平成27年	平成28年	平成29年	平成30年	平成31年（令和元年）	平成27～31年（令和元年）までの伸び率
志願者数（人）	52, 496	51, 644	50, 526	49, 131	48, 762	-0. 071
入学者数（人）	10, 630	10, 774	10, 696	10, 721	10, 723	0. 009

保健　公立	平成27年	平成28年	平成29年	平成30年	平成31年（令和元年）	平成27～31年（令和元年）までの伸び率
志願者数（人）	28, 102	28, 496	28, 889	30, 308	30, 691	0. 092
入学者数（人）	6, 295	6, 320	6, 337	6, 566	6, 836	0. 086

保健　私立	平成27年	平成28年	平成29年	平成30年	平成31年（令和元年）	平成27～31年（令和元年）までの伸び率
志願者数（人）	411, 505	416, 188	424, 483	440, 147	433, 069	0. 052
入学者数（人）	51, 678	51, 543	53, 345	54, 174	55, 707	0. 078

私立大学・短期大学等入学志願動向（日本私立学校振興・共済事業団）「学部系統別の動向（大学）」による

資料 2

区分：合計

年 度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成22～31年までの伸び率
集計学部数	1,574	1,593	1,618	1,635	1,659	1,688	1,712	1,743	1,776	1,814	0.15
入学定員（A）	450,783	452,997	455,790	458,456	460,251	463,697	467,525	477,667	484,986	487,065	0.08
志願者（B）	3,180,144	3,210,052	3,198,325	3,390,171	3,464,429	3,513,502	3,629,277	3,882,573	4,158,495	4,425,625	0.39
受験者（C）	3,064,964	3,091,333	3,074,755	3,266,528	3,329,844	3,376,430	3,489,798	3,732,228	3,999,532	4,246,911	0.39
合格者（D）	1,055,655	1,079,546	1,117,800	1,147,250	1,195,744	1,241,258	1,245,863	1,238,199	1,211,499	1,250,373	0.18
入学者（E）	489,008	481,959	474,892	484,024	477,631	487,061	488,209	499,678	497,773	500,083	0.02
志願倍率（B/A）	7.05	7.09	7.02	7.39	7.53	7.58	7.76	8.13	8.57	9.09	0.29
合格率（D/C）	34.44	34.92	36.35	35.12	35.91	36.76	35.7	33.18	30.29	29.44	△ 0.15
歩留率（E/D）	46.32	44.64	42.48	42.19	39.94	39.24	39.19	40.36	41.09	39.99	△ 0.14
入学定員 充足率（E/A）	108.48	106.39	104.19	105.58	103.78	105.04	104.42	104.61	102.64	102.67	△ 0.05

区分：保健系

年 度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成22～31年までの伸び率
集計学部数	139	146	154	161	175	192	198	209	220	237	0.71
入学定員（A）	20,907	22,254	23,414	24,734	27,033	28,998	30,330	32,850	34,307	35,861	0.72
志願者（B）	107,035	123,017	138,556	157,627	164,659	170,604	172,040	179,962	185,322	188,548	0.76
受験者（C）	103,520	118,568	133,595	152,437	158,154	163,950	165,349	173,271	177,967	180,995	0.75
合格者（D）	40,985	43,365	46,612	50,020	56,334	61,599	63,762	67,051	69,269	73,835	0.80
入学者（E）	22,892	24,303	25,708	27,307	29,156	31,205	31,584	33,561	34,669	36,159	0.58
志願倍率（B/A）	5.12	5.53	5.92	6.37	6.09	5.88	5.67	5.48	5.40	5.26	0.03
合格率（D/C）	39.59	36.57	34.89	32.81	35.62	37.57	38.56	38.70	38.92	40.79	0.03
歩留率（E/D）	55.85	56.04	55.15	54.59	51.76	50.66	49.53	50.05	50.05	48.97	△ 0.12
入学定員 充足率（E/A）	109.49	109.21	109.80	110.40	107.85	107.61	104.13	102.16	101.06	100.83	△ 0.08

資料 3-1

大阪地区理学療法士・作業療法士養成施設（４年制大学）における志願者数動向（2019年入試）

都道府県	学　校　名	学　部　学　科　等　名	入学定員	志願者	合格者	倍率	所　在　地
大阪	藍野大学	医療保健学部理学療法学科	100	585	174	5.85	茨木市東太田4-5-4
		医療保健学部作業療法学科	40	192	98	4.80	茨木市東太田4-5-4
大阪	大阪河﨑 リハビリテーション大学	リハビリテーション学部リハビリテーション学科理学療法学専攻	60	152	96	2.53	貝塚市水間158
		リハビリテーション学部リハビリテーション学科作業療法学専攻	60	64	37	1.07	貝塚市水間158
大阪	大阪電気通信大学	医療福祉工学部理学療法学科	40	57	13	1.43	四條畷市清瀧1130-70
大阪	大阪人間科学大学	人間科学部理学療法学科	60	290	63	4.83	摂津市正雀1-4-1
大阪	大阪保健医療大学	保健医療学部リハビリテーション学科理学療法学専攻	70	229	99	3.27	大阪市北区天満1-9-27
		保健医療学部リハビリテーション学科作業療法学専攻	30	97	44	3.23	大阪市北区天満1-9-27
大阪	大阪行岡医療大学	医療学部理学療法学科	80	-	-	-	茨木市総持寺1丁目1番41号
大阪	関西医療大学	保健医療学部理学療法学科	60	341	86	5.68	泉南郡熊取町若菜2-11-1
		保健医療学部作業療法学科	40	142	86	3.55	泉南郡熊取町若菜2-11-1
大阪	関西福祉科学大学	保健医療学部リハビリテーション学科理学療法学専攻	80	411	127	5.14	柏原市旭ヶ丘3-11-1
		保健医療学部リハビリテーション学科作業療法学専攻	50	231	111	4.62	柏原市旭ヶ丘3-11-1
大阪	四條畷学園大学	リハビリテーション学部リハビリテーション学科理学療法学専攻	40	84	35	2.10	大東市北条5-11-10
		リハビリテーション学部リハビリテーション学科作業療法学専攻	40	38	22	0.95	大東市北条5-11-10
大阪	森ノ宮医療大学	保健医療学部理学療法学科	70	455	87	6.50	大阪市住之江区南港北1-26-16
		保健医療学部作業療法学科	40	53	62	1.33	大阪市住之江区南港北1-26-16
大阪	大和大学	保健医療学部総合リハビリテーション学科理学療法学専攻	40	528	67	13.20	吹田市片山町2-5-1
		保健医療学部 総合リハビリテーション学科作業療法学専攻	40	289	99	7.23	吹田市片山町2-5-1

旺文社蛍雪時代2019　10月臨時増刊全国看護・医療・福祉系大学・短大専門学校受験年間による

入学定員総数	志願者総数	合格者総数	倍率
960	4,238	1,406	4.41

※倍率は志願者総数を入学定員総数で除したものである。
なお、非公表の大学については算入していない.

資料 3-2

大阪地区理学療法士養成施設（４年制大学）における志願者数動向（2019年入試）

都道府県	学　校　名	学　部　学　科　等　名	入学定員	志願者	合格者	倍率	所　在　地
大阪	藍野大学	医療保健学部理学療法学科	100	585	174	5.85	茨木市東太田4-5-4
大阪	大阪河﨑 リハビリテーション大学	リハビリテーション学部リハビリテーション学科理学療法学専攻	60	152	96	2.53	貝塚市水間158
大阪	大阪電気通信大学	医療福祉工学部理学療法学科	40	57	13	1.43	四條畷市清瀧1130-70
大阪	大阪人間科学大学	人間科学部理学療法学科	60	290	63	4.83	摂津市正雀1-4-1
大阪	大阪保健医療大学	保健医療学部リハビリテーション学科理学療法学専攻	70	229	99	3.27	大阪市北区天満1-9-27
大阪	大阪行岡医療大学	医療学部理学療法学科	80	－	－	－	茨木市総持寺1丁目1番41号
大阪	関西医療大学	保健医療学部理学療法学科	60	341	86	5.68	泉南郡熊取町若菜2-11-1
大阪	関西福祉科学大学	保健医療学部リハビリテーション学科理学療法学専攻	80	411	127	5.14	柏原市旭ヶ丘3-11-1
大阪	四條畷学園大学	リハビリテーション学部リハビリテーション学科理学療法学専攻	40	84	35	2.10	大東市北条5-11-10
大阪	森ノ宮医療大学	保健医療学部理学療法学科	70	455	87	6.50	大阪市住之江区南港北1-26-16
大阪	大和大学	保健医療学部総合リハビリテーション学科理学療法学専攻	40	528	67	13.20	吹田市片山町2-5-1

旺文社蛍雪時代2019　10月臨時増刊全国看護・医療・福祉系大学・短大専門学校受験年間による

入学定員総数	志願者総数	合格者総数	倍率
620	3,132	847	5.05

※倍率は志願者総数を入学定員総数で除したものである。
なお、非公表の大学については算入していない.

資料 3-3

大阪地区作業療法士養成施設（４年制大学）における志願者数動向（2019年入試）

都道府県	学　校　名	学　部　学　科　等　名	入学定員	志願者	合格者	倍率	所　在　地
大阪	藍野大学	医療保健学部作業療法学科	40	192	98	4.80	茨木市東太田4-5-4
大阪	大阪河﨑 リハビリテーション大学	リハビリテーション学部リハビリテーション学科作業療法学専攻	60	64	37	1.07	貝塚市水間158
大阪	大阪保健医療大学	保健医療学部リハビリテーション学科作業療法学専攻	30	97	44	3.23	大阪市北区天満1-9-27
大阪	関西医療大学	保健医療学部作業療法学科	40	142	86	3.55	泉南郡熊取町若菜2-11-1
大阪	関西福祉科学大学	保健医療学部リハビリテーション学科作業療法学専攻	50	231	111	4.62	柏原市旭ヶ丘3-11-1
大阪	四條畷学園大学	リハビリテーション学部リハビリテーション学科作業療法学専攻	40	38	22	0.95	大東市北条5-11-10
大阪	森ノ宮医療大学	保健医療学部作業療法学科	40	53	62	1.33	大阪市住之江区南港北1-26-16
大阪	大和大学	保健医療学部 総合リハビリテーション学科作業療法学専攻	40	289	99	7.23	吹田市片山町2-5-1

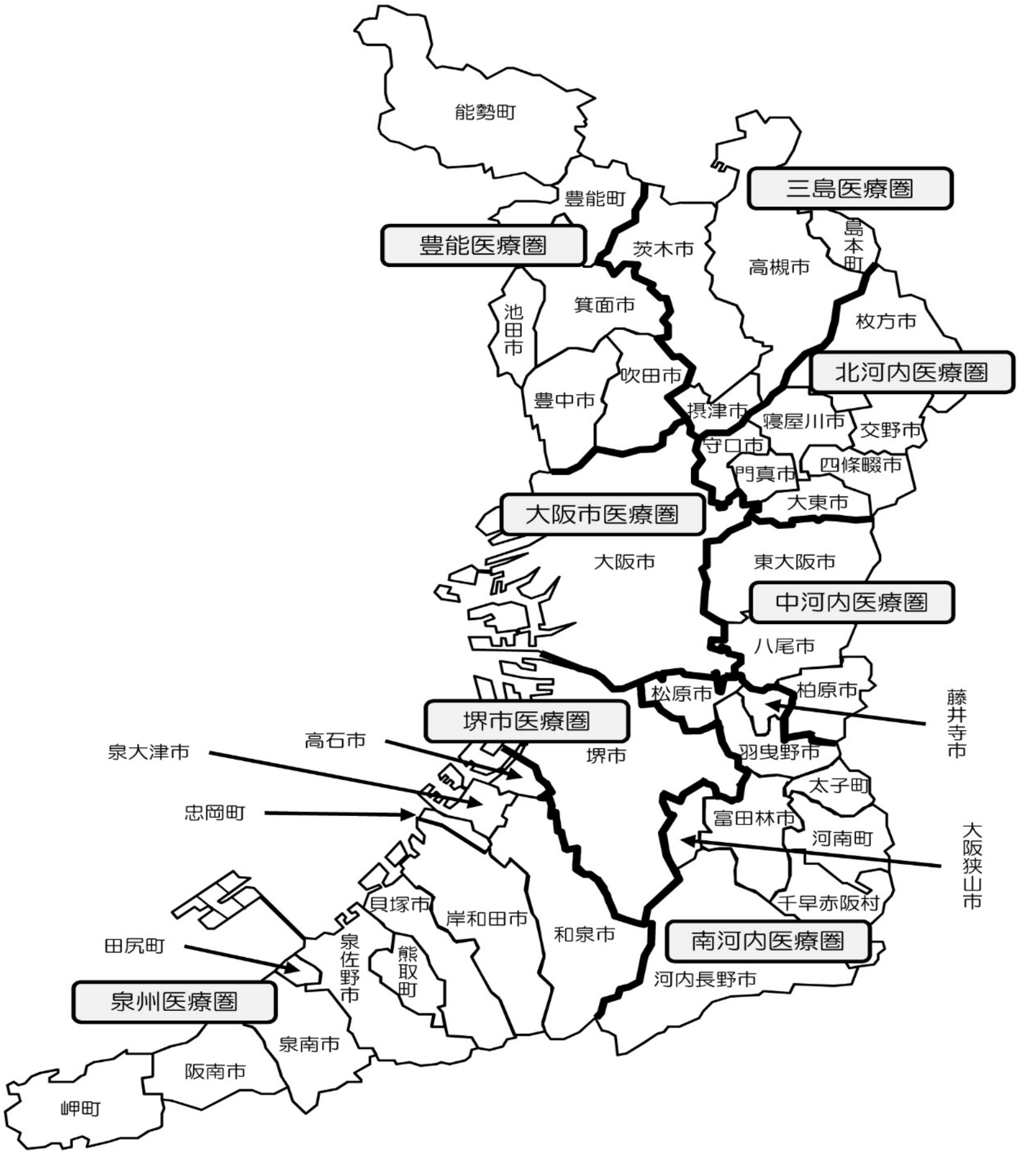
旺文社蛍雪時代2019　10月臨時増刊全国看護・医療・福祉系大学・短大専門学校受験年間による

入学定員総数	志願者総数	合格者総数	倍率
340	1,106	559	3.25

※倍率は志願者総数を入学定員総数で除したものである。
　なお、非公表の大学については算入していない.

資料　4

第７次大阪府保健医療計画（2018 年度～2023 年度）より作成



医療圏	医療機関名	所在地
三島	大阪医科大学附属病院	大阪府高槻市大学町２−７
大阪市	大阪市立大学医学部附属病院	大阪府大阪市阿倍野区旭町 1-5-7
豊能	大阪大学医学部附属病院	大阪府吹田市山田丘 2 番 15 号
北河内	関西医科大学附属病院	大阪府枚方市新町 2 丁目 3 番 1 号
南河内	近畿大学医学部附属病院	大阪府大阪狭山市大野東 377-2
豊能	国立循環器病研究センター	大阪府吹田市藤白台 5 丁目 7 番 1 号
大阪市	大阪国際がんセンター	大阪府大阪市中央区大手前 3 丁目 1-69

資料5

関西医科大学

「リハビリテーション学部 理学療法学科・作業療法学科」

※いずれも仮称／設置構想中

設置に係る学生確保の見通し調査

（新学部設置構想についての高校生アンケート調査）

報告書

2020年2月5日

株式会社 紀伊國屋書店

株式会社 高等教育総合研究所

目次

1.「新学部設置構想についての高校生アンケート調査」概要 3
2.「新学部設置構想についての高校生アンケート調査」集計結果 4
3.「新学部設置構想についての高校生アンケート調査」集計結果のポイント 7

参考データ
私立大学　保健系全体の入学定員・志願・合格・入学状況　推移（2010～2019 年度） １０

添付資料 １１
「新学部設置構想についての高校生アンケート調査」

1．「新学部設置構想についての高校生アンケート調査」概要

関西医科大学が 2021 年度に設置予定の「リハビリテーション学部　理学療法学科・作業療法学科（仮称・設置構想中）」における学生確保の見通しを測定するために、2021 年度に大学進学時期を迎える高校 2 年生を対象に「新学部設置構想についての高校生アンケート調査」（無記名式）を実施した。大阪府を中心に、近畿二府四県の計 49 校の高校生 4,038 人から回答を得て集計した結果、以下の結果が得られた。

＜リハビリテーション学部（仮称）＞

- 「理学療法学科（仮称・入学定員 60 名を予定）」: 合計 116 人の受験者が見込まれ（入学定員に対する倍率は 1.9 倍）で、72 人の入学希望者が存在。
- 「作業療法学科（仮称・入学定員 40 名を予定）」: 合計 97 人の受験者が見込まれ（入学定員に対する倍率は 2.4 倍）で、56 人の入学希望者が存在。

調査対象	2021 年度の大学入試を受験する可能性が最も高い高校 2 年生（2021 年 3 月卒業予定者）をアンケートの対象とした。関西医科大学に志願者・入学者が多い大阪府を中心とした近畿二府四県の高校にアンケート実施を依頼し、49 校にご協力いただいた。
調査内容	● 回答者の基本情報（居住地、性別、高校卒業後の希望進路、関心のある学問分野） ● 関西医科大学「リハビリテーション学部　理学療法学科・作業療法学科（仮称・設置構想中）」の受験・入学意向 以上、全 8 問ですべて選択肢式。
調査時期	2019 年 10 月～2020 年 1 月
調査方法	アンケート実施の了承が得られた高校に高校生アンケート用紙（必要部数）を送付。各校の教職員から調査対象者（高校 2 年生）にアンケート用紙を配布の上、10 分程度の回答時間を設け、その場で回収いただいた。
回収件数	有効回答数 4,038 件

実施高校の県別内訳

	公立	私立	合計	割合
大阪府	9	19	28	57.1%
京都府	1	2	3	6.1%
兵庫県	6	4	10	20.4%
奈良県	3	2	5	10.2%
滋賀県	1	0	1	2.0%
和歌山県	1	1	2	4.1%
その他	0	0	0	0
合計	21	28	49	100.0%
割合	42.9%	57.1%	100.0%	

在籍高校所在地別の回収件数

	公立	私立	合計	割合
大阪府	907	1,727	2,634	65.2%
京都府	77	123	200	5.0%
兵庫県	371	327	698	17.3%
奈良県	222	106	328	8.1%
滋賀県	37	0	37	0.9%
和歌山県	71	70	141	3.5%
その他	0	0	0	0.0%
合計	1,685	2,353	4,038	100.0%
割合	41.7%	58.3%	100.0%	

2.「新学部設置構想についての高校生アンケート調査」集計結果

※「構成比」（%）はいずれも、小数点第二位を四捨五入。

問１　あなたが現在お住まいの府県をお答えください。(あてはまるもの１つにマーク)

選択項目	回答数	構成比
1.　大阪府	2,547	63.1%
2.　京都府	212	5.3%
3.　兵庫県	702	17.4%
4.　奈良県	363	9.0%
5.　滋賀県	65	1.6%
6.　和歌山県	129	3.2%
7.　その他	5	0.1%
（無回答）	15	0.4%
合計	4,038	100.0%

問２　あなたの性別をお答えください。（あてはまるものにマーク）

選択項目	回答数	構成比
1.　男性	1,672	41.4%
2.　女性	2,343	58.0%
（無回答）	23	0.6%
合計	4,038	100.0%

問３　あなたの高校卒業後の希望進路をお答えください。(現時点で最もあてはまるもの１つにマーク)

選択項目	回答数	構成比
1.　進学	3,681	91.2%
2.　就職	123	3.0%
3.　現時点では未定	212	5.3%
（無回答）	22	0.5%
合計	4,038	100.0%

問４　あなたが関心のある学問分野をお答えください。(あてはまるものすべてにマーク)

選択項目	回答数	構成比
1.　保健衛生学（リハビリテーション、看護学、臨床検査学、放射線など）	982	24.3%
2.　医学・歯学・薬学	553	13.7%
3.　人文科学（文学、史学、哲学、心理学、外国語学など）	786	19.5%
4.　社会科学（経営学・商学、経済学、法学・政治学、社会学など）	731	18.1%
5.　理学・工学（情報学、建築学、数学、物理学、化学、生物学、工学など）	940	23.3%
6.　農学（農学、農業経済学、など）	227	5.6%
7.　家政学（生活科学、食物学、住居学、被服学など）	281	7.0%
8.　教育学・保育	675	16.7%
9.　芸術学（音楽、デザイン、美術など）	448	11.1%
10.　その他	432	10.7%

※ 問４は複数回答項目のため、回答数は延べ。

※ 各構成比 ＝ 回答数 ÷4,038 人（全回答者の人数）

問 5 以降は別紙・関西医科大学　「新学部設置構想」の概要を見た上での回答を求めた。

問 5　あなたは新しい学部が開設される関西医科大学を受験したいと思いますか。
（あてはまるもの 1 つのみにマーク）

選択項目	回答数	構成比
1.　受験したい（関西医科大学に入学したい）	66	1.6%
2.　受験したい（関西医科大学は入学先の選択肢の一つ）	227	5.6%
3.　現時点では予定にない	3,689	91.4%
（無回答）	56	1.4%
合計	4,038	100.0%

以下の問 6 は、問 5 で「受験したい（関西医科大学に入学したい）」を選択した高校生（66 人）のみが回答対象

問 6　あなたが関西医科大学において、入学したいと思う学部・学科をお答えください。
（あてはまるもの 1 つのみにマーク）

選択項目	回答数	構成比
1.　リハビリテーション学部　理学療法学科	24	36.4%
2.　リハビリテーション学部　作業療法学科	13	19.7%
3.　関西医科大学の上記以外の学科	26	39.4%
（無回答）	3	4.5%
合計	66	100.0%

以下の問 7 は、問 5 で「受験したい（関西医科大学は入学先の選択肢の一つ）」を選択した高校生（227 人）のみが回答対象

問 7　あなたが関西医科大学において、入学先の選択肢にしたい学部・学科をお答えください。
（あてはまるものすべてにマーク）

選択項目	回答数	構成比
1.　リハビリテーション学部　理学療法学科	92	40.5%
2.　リハビリテーション学部　作業療法学科	84	37.0%
3.　関西医科大学の上記以外の学科	120	52.9%

※ 問 7 は複数回答項目のため、回答数は延べ。

※ 各構成比 ＝ 回答数 ÷227 人（全回答者の人数）

以下の問 8 は、問 5 で「現時点では予定にない」を選択した高校生（3,689 人）のみが回答対象

選択項目	回答数	構成比
1. リハビリテーション学部　理学療法学科（仮称）に興味・関心はあるが、詳細を知った上で検討したいから	179	4.9%
2. リハビリテーション学部　作業療法学科（仮称）に興味・関心はあるが、詳細を知った上で検討したいから	81	2.2%
3. 興味・関心のある学部・学科がないから	1,275	34.6%
4. 国立大学への進学を希望しているから	685	18.6%
5. 他の私立大学への進学を希望しているから	1,185	32.1%
6. 短期大学への進学を希望しているから	72	2.0%
7. 専門学校への進学を希望しているから	345	9.4%
8. 就職を希望しているから	101	2.7%
9. 高校卒業後の希望進路は現時点では未定だから	241	6.5%
10. 通学に時間がかかりそうだから	273	7.4%
11. 学費が高いから	307	8.3%
12. その他	350	9.5%

※ 問 8 は複数回答項目のため、回答数は延べ。

※ 各構成比 ＝ 回答数 ÷3,689 人（全回答者の人数）

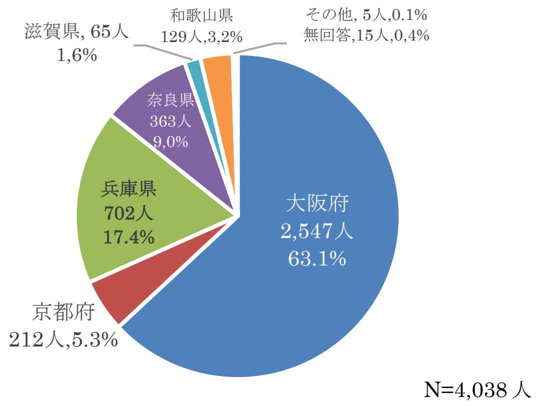
3．「新学部設置構想についての高校生アンケート調査」集計結果のポイント

※「構成比」（%）はいずれも、小数点第二位を四捨五入。

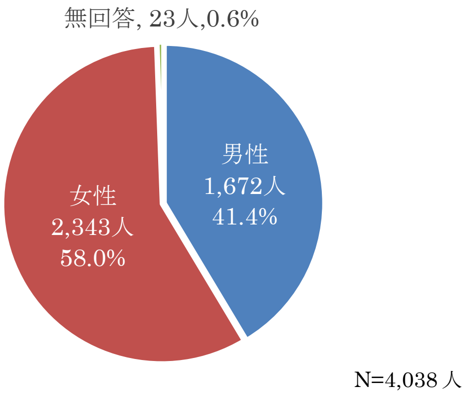
Point 1	回答者 4,038 人の 6 割強が地元大阪府の在住者。 9 割超が進学を希望し、4 人に 1 人が興味ある学問分野として保健衛生学を挙げる。

関西医科大学が 2021 年度に設置予定の「リハビリテーション学部　理学療法学科・作業療法学科（仮称・設置構想中）」に係る「新学部設置構想についての高校生アンケート調査」において、有効回答 4,038 件の集計を行った。その結果、回答者を居住地別にみると、開設予定地である大阪府が 2,547 人（全体の 63.1%）で最も多く全体の 6 割を占めた。性別でみると、回答者 4,038 人のうち「女性」が 2,343 人（同 58.0%）、「男性」が 1,672 人（同 41.4%）であった。高校卒業後の希望進路については、「進学」が 3,681 人（同 91.2%）で全体の 9 割を占めた。興味のある学問分野については、リハビリテーションを含む「保健衛生学」が 982 人（同 24.3%）で最多となった。（興味のある学問分野は複数回答の結果）。

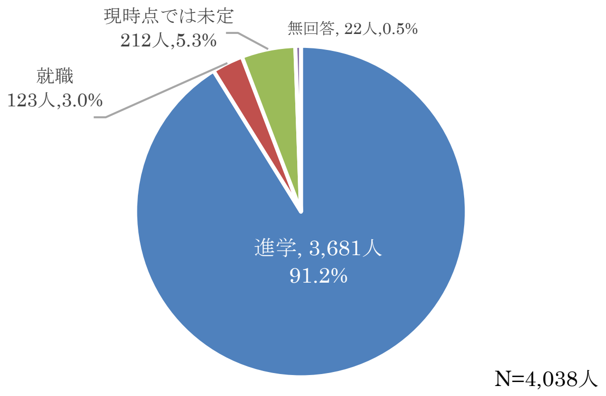
居住地 ＜問 1 結果より＞



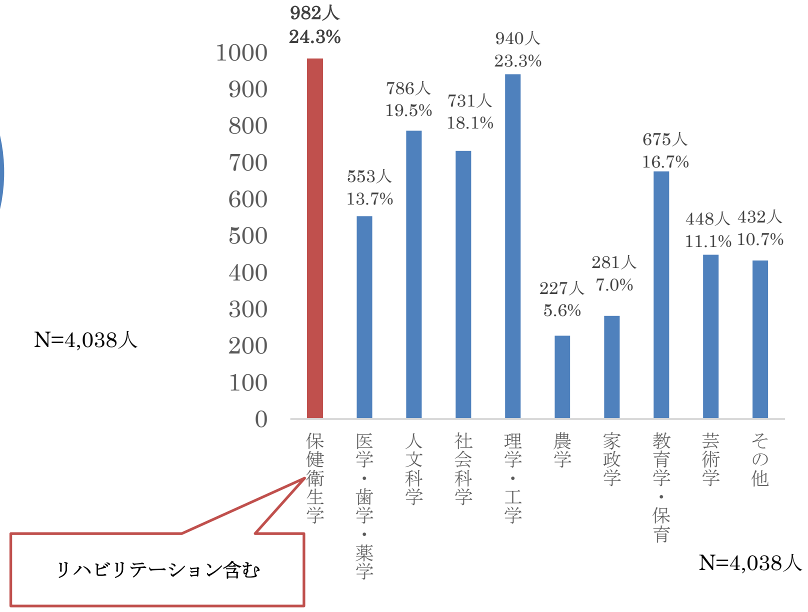
性別 ＜問 2 結果より＞



高校卒業後の希望進路 ＜問 3 結果より＞



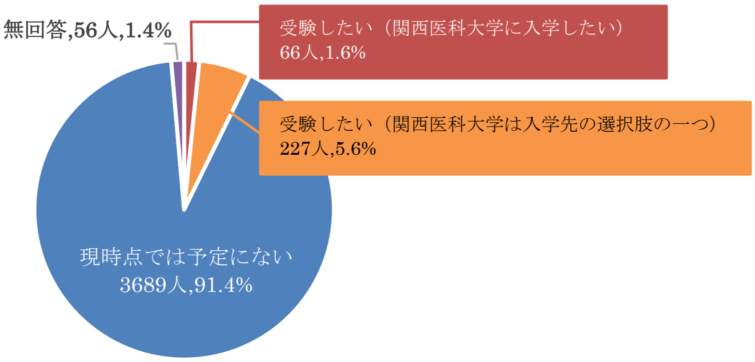
関心のある学問分野 ＜問 4 結果より＞



Point 2	関西医科大学「リハビリテーション学部　理学療法学科・作業療法学科（いずれも仮称・設置構想中）」の各学科の入学定員に対し、いずれも入学定員を上回る入学希望者が存在。

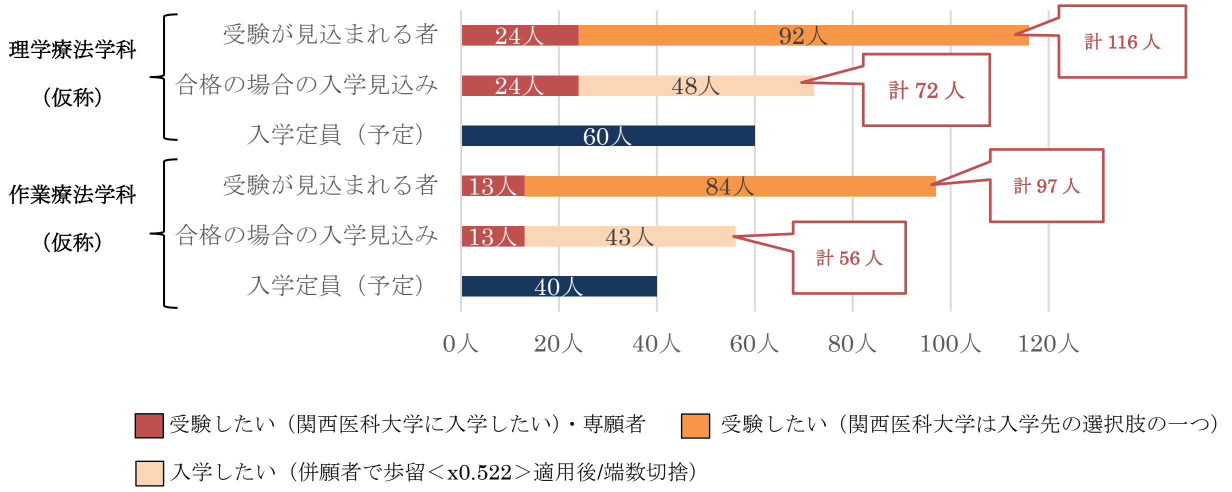
2021 年度「リハビリテーション学部　理学療法学科・作業療法学科（いずれも仮称・設置構想中）」が開設予定の関西医科大学を第一志望の入学先とする「受験したい（関西医科大学に入学したい）」としたのは 66 人（全体の 1.6%）、受験はするが併願先の一つとする「受験したい（関西医科大学は入学先の選択肢の一つ）」としたのは 227 人（同 5.6%）であった。

新しい学部が開設される関西医科大学への受験意欲 ＜問 5 結果より＞　※N＝4,038 人



「受験したい（関西医科大学に入学したい）」とした者には、入学したい学科を一つ（※問 6)、「受験したい（関西医科大学は入学先の選択肢の一つ）」とした者には、入学したい学科を複数挙げるよう求めた結果（※問 7)、「リハビリテーション学部　理学療法学科・作業療法学科（いずれも仮称・設置構想中）」への受験・入学意向については次のような結果が得られた。

関西医科大学「リハビリテーション学部（仮称）」への受験・入学意向＜問 5～7 結果より＞※問 5 で受験意向を示した者が回答対象



【理学療法学科（仮称）】

「受験したい（関西医科大学に入学したい）」（＝合格した場合、関西医科大学に入学する者）とした上で、「理学療法学科（仮称）」に「入学したい」とした者は 24 人いた。また、「受験したい（関西医科大学は入学先の選択肢の一つ）」（＝合格した場合、併願先の合否結果等を踏まえ関西医科大学に入学する者）とした上で、「理学療法学科（仮称）」に「入学したい」とした者は 92 人いた。よって「理学療法学科（仮称・入学定員 60 名を予定）」に対しては、これらの合計 116 人が受験者と見込まれ、入学定員に対する倍率は 1.9 倍である。

さらに「理学療法学科（仮称）」の受験が見込まれる 116 人のうち、「受験したい（関西医科大学に入学したい）」とした 24 人は合格した場合、全員が入学を希望する専願層と判断できる。一方、「受験したい（関西医科大学は入学先の選択肢の一つ）」とした 92 人については「理学療法学科（仮称）」に合格しても、併願先の結果によっては入学を辞退する可能性がある。そのため、**参考データ「私立大学保健系全体の入学定員・志願・合格・入学状況　推移（2010～2019 年度）」**に基づく歩留率 52.2%（入学者÷合格者／2010～2019 年度分の平均）を 92 人に乗じた人数、48 人（＝92 人×0.522 ※端数切捨）が併願層の入学希望者と判断できる。専願層 24 人と併願層 48 人を合計すると、「理学療法学科（仮称・入学定員 60 名を予定）」には少なくとも 72 人の入学希望者が存在することがわかる。

【作業療法学科（仮称）】

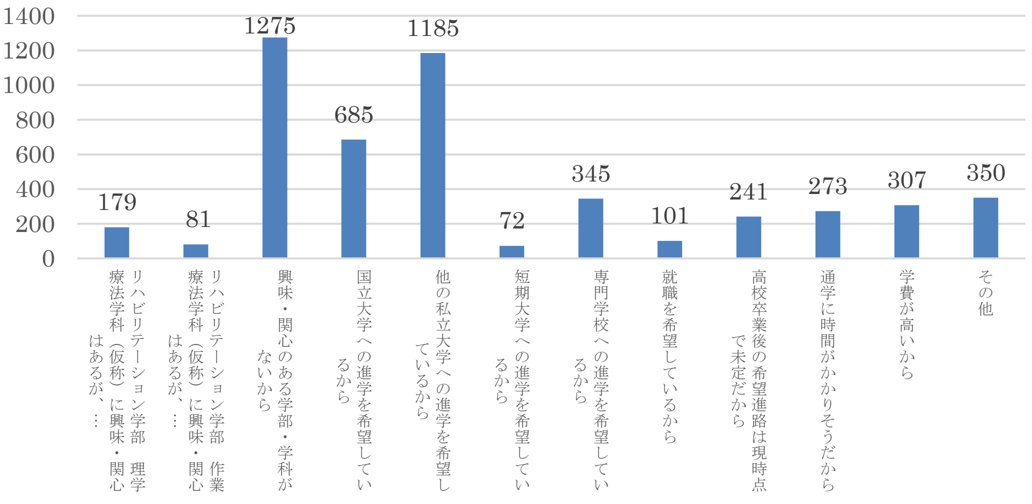
「受験したい（関西医科大学に入学したい）」（＝合格した場合、関西医科大学に入学する者）とした上で、「作業療法学科（仮称）」に「入学したい」とした者は 13 人いた。また、「受験したい（関西医科大学は入学先の選択肢の一つ）」（＝合格した場合、併願先の合否結果等を踏まえ関西医科大学に入学する者）とした上で、「作業療法学科（仮称）」に「入学したい」とした者は 84 人いた。よって「作業療法学科（仮称・入学定員 40 名を予定）」に対しては、これらの合計 97 人が受験者と見込まれ、入学定員に対する倍率は 2.4 倍である。

さらに「作業療法学科（仮称）」の受験が見込まれる 97 人のうち、「受験したい（関西医科大学に入学したい）」とした 13 人は合格した場合、全員が入学を希望する専願層と判断できる。一方、「受験したい（関西医科大学は入学先の選択肢の一つ）」とした 84 人については「作業療法学科（仮称）」に合格しても、併願先の結果によっては入学を辞退する可能性がある。そのため、**参考データ「私立大学保健系全体の入学定員・志願・合格・入学状況　推移（2010～2019 年度）」**に基づく歩留率 52.2%（入学者÷合格者／2010～2019 年度分の平均）を 84 人に乗じた人数、43 人（＝84 人×0.522 ※端数切捨）が併願層の入学希望者と判断できる。専願層 13 人と併願層 43 人を合計すると、「作業療法学科（仮称・入学定員 40 名を予定）」には少なくとも 56 人の入学希望者が存在することがわかる。

Point 3	アンケート調査実施時点では当該学部･学科への受験意欲を示さなかったものの、一定の興味を示している層が存在し、今後の広報活動を通して更なる志願者確保が可能。

関西医科大学の受験について「現時点では予定にない」とした 3,689 人に対し、その理由について回答を求めた。結果、「リハビリテーション学部　理学療法学科（仮称）に興味・関心はあるが、詳細を知った上で検討したいから」とした者が 179 人、「リハビリテーション学部　作業療法学科（仮称）～（略）」とした者が 81 人（いずれも複数回答の結果）いた。このことから、アンケート調査実施時点では当該学部・学科への受験意欲を示さなかったものの、一定の興味を示している層が存在していることは明らかで、今後の広報活動を通して更なる志願者確保が可能であると推察される。

関西医科大学を受験しない理由 ＜問 8 結果より＞



【参考データ】

私立大学　保健系全体の入学定員・志願・合格・入学状況　推移（2010～2019 年度）

年度	集計 学部数	入学定員 A	志願者 B	受験者 C	合格者 D	入学者 E	志願倍率 B/A	合格率 D/C	歩留率 E/D	入学定員 充足率 E/A
2010	139	20,907	107,041	103,520	40,862	22,892	5.12	39.47	56.02	109.49
2011	146	22,254	123,017	118,568	43,365	24,303	5.53	36.57	56.04	109.21
2012	154	23,414	138,556	133,595	46,612	25,708	5.92	34.89	55.15	109.80
2013	161	24,734	157,627	152,437	50,020	27,307	6.37	32.81	54.59	110.40
2014	175	27,033	164,659	158,154	56,334	29,156	6.09	35.62	51.76	107.85
2015	192	28,998	170,604	163,950	61,559	31,205	5.88	37.57	50.66	107.61
2016	198	30,330	172,040	165,349	63,762	31,584	5.67	38.56	49.53	104.13
2017	209	32,850	179,961	173,270	67,108	33,560	5.48	38.73	50.01	102.16
2018	220	34,307	185,322	177,967	69,269	34,669	5.40	38.92	50.05	101.06
2019	237	35,861	188,548	180,995	73,835	36,159	5.26	40.79	48.97	100.83
平均	183	28,069	158,738	152,781	57,273	29,654	5.67	37.39	**52.28**	106.25

※日本私立学校振興・共済事業団「私立大学・短期大学等　入学志願動向」より

【添付資料】

「新学部設置構想についての高校生アンケート調査」

関西医科大学

新学部設置構想についての高校生アンケート調査

（対象：2019 年度現在、高校 2 年生の皆さん）

関西医科大学は牧野キャンパス（仮称・大阪府枚方市宇山東町 18 番 89 号）に「リハビリテーション学部　理学療法学科・作業療法学科（いずれも仮称）」の 1 学部 2 学科を 2021 年 4 月に開設することを構想しております。本学ではこのアンケート調査を通して、2021 年度に大学進学時期を迎える現・高校2年生の皆さんからさまざまなご意見をお聞きし、「リハビリテーション学部　理学療法学科・作業療法学科（いずれも仮称）」の構想内容に反映したいと考えています。

なお、回答いただいた内容は統計処理され、個人が特定されることはありません。また集計結果は関西医科大学の「リハビリテーション学部　理学療法学科・作業療法学科（いずれも仮称）」の設置構想に係る統計資料としてのみ活用いたします。

高校生の皆さんのアンケート調査へのご協力を、よろしくお願いいたします。

記入例を参考にご回答ください。　正しい ●　誤り 〇 〇 〇 〇

問１　あなたが現在お住まいの府県をお答えください。（あてはまるもの1つにマーク）

〇 大阪府　〇 京都府　〇 兵庫県
〇 奈良県　〇 滋賀県　〇 和歌山県
〇 その他（　　　　　　）※「その他」の場合、都道府県名をご記入ください。

問２　あなたの性別をお答えください。（あてはまるものにマーク）

〇 男性　〇 女性

問３　あなたの高校卒業後の希望進路をお答えください。（現時点で最もあてはまるもの1つにマーク）

〇 進学　〇 就職　〇 現時点では未定

問４　あなたが関心のある学問分野をお答えください。（あてはまるものすべてにマーク）

〇 保健衛生学（リハビリテーション、看護学、臨床検査学、放射線など）
〇 医学・歯学・薬学
〇 人文科学（文学、史学、哲学、心理学、外国語学など）
〇 社会科学（経営学・商学、経済学、法学・政治学、社会学など）
〇 理学・工学（情報学、建築学、数学、物理学、化学、生物学、工学など）
〇 農学（農学、農業経済学、など）
〇 家政学（生活科学、食物学、住居学、被服学など）
〇 教育学・保育
〇 芸術学（音楽、デザイン、美術など）
〇 その他

問５以降は、関西医科大学　新学部設置構想の概要（別紙リーフレット）をご覧の上でお答えください。

問５　あなたは新しい学部が開設される関西医科大学を受験したいと思いますか。
（あてはまるもの1つのみにマーク）

〇 受験したい（関西医科大学に入学したい）　⇒　2 ページの問 6 にお答えください。
〇 受験したい（関西医科大学は入学先の選択肢の一つ）　⇒　2 ページの問 7 にお答えください。
〇 現時点では予定にない　⇒　2 ページの問 8 にお答えください。

以下の問６は、問５で「受験したい（関西医科大学に入学したい）」と回答した方がお答えください。

問６　あなたが関西医科大学において、入学したいと思う学部・学科をお答えください。
（あてはまるもの１つのみにマーク）

- リハビリテーション学部　理学療法学科
- リハビリテーション学部　作業療法学科
- 関西医科大学の上記以外の学科

※学部・学科の名称は仮称です。今後、変更になる場合があります。

以下の問７は、問５で「受験したい（関西医科大学は入学先の選択肢の一つ）」と
回答した方がお答えください。

問７　あなたが関西医科大学において、入学先の選択肢にしたい学部・学科をお答えください。
（あてはまるものすべてにマーク）

- リハビリテーション学部　理学療法学科
- リハビリテーション学部　作業療法学科
- 関西医科大学の上記以外の学科

※学部・学科の名称は仮称です。今後、変更になる場合があります。

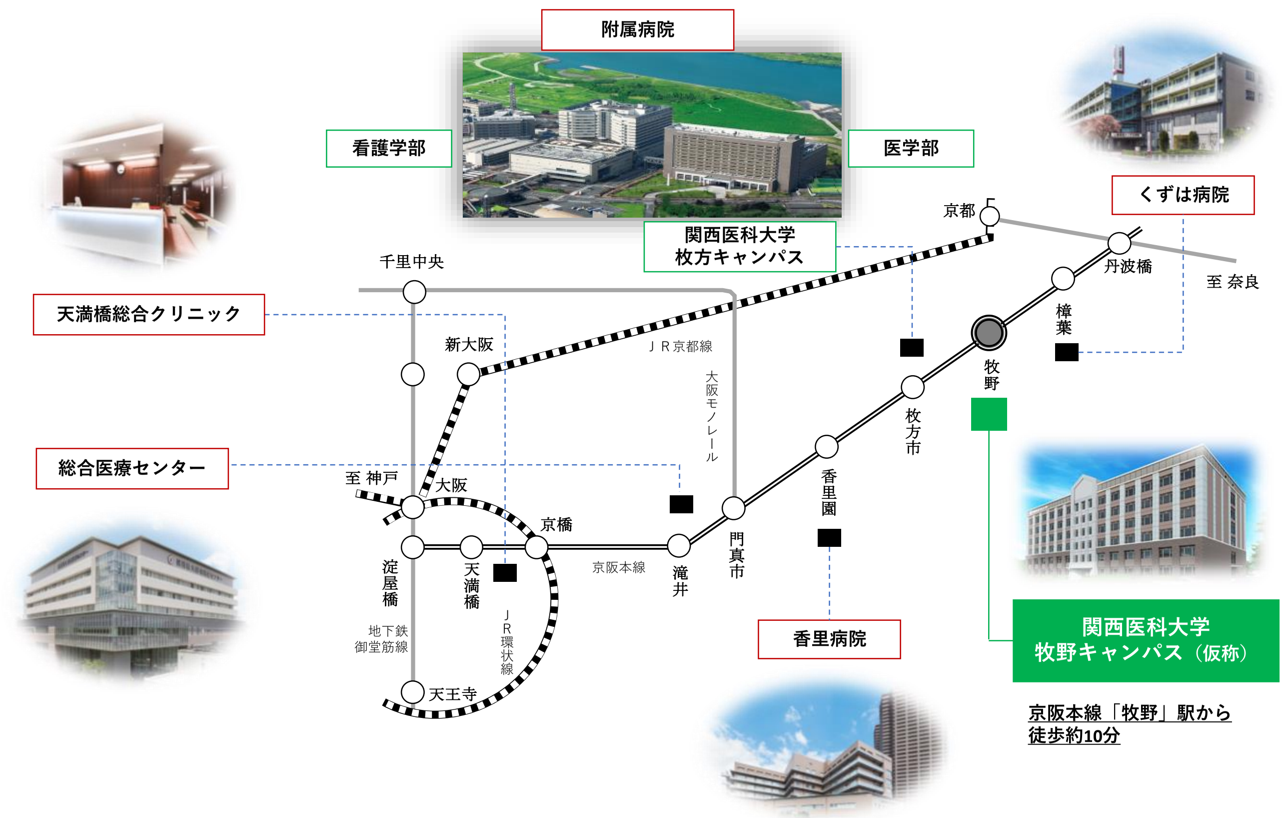
以下の問８は、問５で「現時点では予定にない」と回答した方がお答えください。

問８　あなたが関西医科大学の受験は「現時点では予定にない」とされた理由をお答えください。
（あてはまるものすべてにマーク）

- リハビリテーション学部　理学療法学科（仮称）に興味・関心はあるが、詳細を知った上で検討したいから
- リハビリテーション学部　作業療法学科（仮称）に興味・関心はあるが、詳細を知った上で検討したいから
- 興味・関心のある学部・学科がないから
- 他の私立大学への進学を希望しているから
- 専門学校への進学を希望しているから
- 高校卒業後の希望進路は現時点では未定だから
- 学費が高いから
- 国立大学への進学を希望しているから
- 短期大学への進学を希望しているから
- 就職を希望しているから
- 通学に時間がかかりそうだから
- その他

質問は以上となります。ご協力いただき、ありがとうございました。

交通アクセス（所在地）



学費（周辺大学を含む）

（単位：円）

大学名　学部名　学科名 （所在地）	入学金	授業料等	初年次納付金 （合計）
理学療法学分野			
関西医科大学　リハビリテーション学部　理学療法学科（仮称） （大阪府枚方市宇山東町１８－８９）	300,000	1,460,000	1,760,000
兵庫医療大学　リハビリテーション学部　理学療法学科 （兵庫県神戸市中央区港島１－３－６）	300,000	1,500,000	1,800,000
森ノ宮医療大学　保健医療学部　理学療法学科 （大阪府大阪市住之江区南港北１－２６－１６）	250,000	1,580,000	1,830,000
佛教大学　保健医療技術学部　理学療法学科 （京都府京都市中京区西ノ京東栂尾町７）	170,000	1,780,000	1,950,000
作業療法学分野			
関西医科大学　リハビリテーション学部　作業療法学科（仮称） （大阪府枚方市宇山東町１８－８９）	300,000	1,460,000	1,760,000
兵庫医療大学　リハビリテーション学部　作業療法学科 （兵庫県神戸市中央区港島１－３－６）	300,000	1,500,000	1,800,000
森ノ宮医療大学　保健医療学部　作業療法学科 （大阪府大阪市住之江区南港北１－２６－１６）	250,000	1,580,000	1,830,000
佛教大学　保健医療技術学部　作業療法学科 （京都府京都市中京区西ノ京東栂尾町７）	170,000	1,780,000	1,950,000

- ◆ 関西医科大学 リハビリテーション学部（理学療法学科・作業療法学科※共に仮称）の学費は予定のものです。
- ◆ 他大学の学費は各大学ホームページ掲載情報です（令和元年9月時点）。
- ◆ いずれも諸会費を含みません。また、実習等に伴う費用・経費が別途必要な場合があります。

上記は設置構想中のため、学部・学科名称、定員、取得できる資格、内容、学費などは変更となる場合があります。

２０２１年４月

関西医科大学
KANSAI MEDICAL UNIVERSITY

リハビリテーション学部
（仮称・設置構想中）

誕生

理学療法学科・作業療法学科
(仮称・設置構想中)

牧野キャンパス（仮称）
リハビリテーション学部（仮称）
校舎完成予想図

この「概要」をご覧の上、
中にある高校生アンケート調査にご回答ください。

上記は設置構想中のため、学部・学科名称、定員、取得できる資格、内容、学費などは変更となる場合があります。

２０２１年４月、関西医科大学に新たに開設予定の学部・学科

リハビリテーション学部　仮称・設置構想中

理学療法学科　仮称・設置構想中

入学定員60人（収容定員240人）／学位：学士（理学療法学）

作業療法学科　仮称・設置構想中

入学定員40人（収容定員160人）／学位：学士（作業療法学）

リハビリテーション学部（理学療法学科・作業療法学科）では、現代のリハビリテーション医療で求められる高度な知識と専門的技術を身につけた人材の育成を目指します。

1. 先進医療と先端テクノロジー教育の学び
2. 医学部・看護学部との合同講義によるチーム医療の学び
3. 附属病院をはじめとする関連医療機関で臨床実習を通じた、救急医療から在宅医療までのさまざまな医療現場での実践的な学び

理学療法士（PT:physical therapist）とは・・・

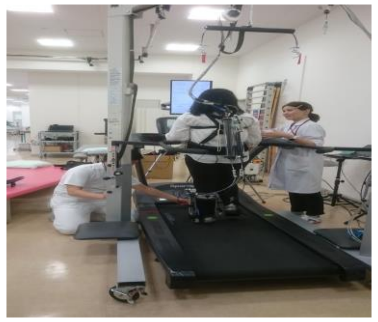
理学療法士は、病気、けが、高齢などによって筋肉、骨、脳や心臓に障害を持った人々に対し、運動機能を回復させ、起きる、立ち上がる、歩くといった動作能力の維持・改善を図る役割を担います。

理学療法士は“動作のスペシャリスト”であり、その活躍の場は病院や老人保健施設にとどまらず、スポーツ分野における傷害予防・競技復帰支援や、中高齢者の健康増進・介護予防分野にも広がっています。

近年では理学療法士としての知識を活かした、医療機器関連企業や研究機関、行政機関、国際支援分野での活躍が期待されています。

養成する人物像

- ◆ 高度なテクノロジーを駆使した先端的な理学療法技術を習得している
- ◆ 多職種間で連携し、理学療法の専門性を発揮してチーム医療に貢献することができる
- ◆ 高度先進医療から地域生活までの幅広い現場で、多様な病態やニーズに対応できる
- ◆ グローバルな視点をもって研究や臨床で幅広く活躍できる



【ロボット技術の活用】

学びの特色

- ◆ ロボット技術など先端テクノロジーを活用した理学療法実践の学び
- ◆ 医学部・看護学部・作業療法学科（仮称）との合同授業による、チーム医療の実践的な学び
- ◆ 附属病院や関連実習施設における、高度先進医療から在宅支援までの幅広い現場での学び
- ◆ 国際レベルで活躍するための科学的思考やコミュニケーション能力を養うカリキュラム

取得可能な資格

理学療法士国家試験受験資格

卒業後の進路先

- ◆ 病院・診療所
- ◆ 老人保健施設・デイケア
- ◆ スポーツ現場
- ◆ 介護予防・健康増進事業
- ◆ 行政機関
- ◆ 保健所
- ◆ 地域包括支援センター
- ◆ 医療・健康関連企業
- ◆ 教育・研究機関

作業療法士（OT:occupational therapist）とは・・・

食べること、入浴すること、学校や仕事に行くこと、日常生活における身近な行為全てが作業療法の“作業：Occupation”です。作業療法では、病気やけが、もしくは生まれながらに障害がある人など、年齢に関係なく子どもから高齢者まで、作業に困難がある全ての人の生活（復職や復学、そして自宅生活）を支えます。

作業療法士は人の**体**（身体機能）や**心**（精神心理機能）に関する医学的知識を基盤とした“日常生活のプロ”です。AI（人工知能）やロボットが発展する未来でも生き残る職業のトップ10に入るとも言われており、作業療法の知識を活かして医療機関、福祉施設、行政機関、教育機関、国際支援事業、そして企業や研究機関での新たな活躍が期待されます。

養成する人物像

- ◆ 人の健康・生活に全般に関する応用的思考を有している
- ◆ 多職種間で連携し、作業療法の専門性を発揮してチーム医療に貢献することができる
- ◆ 子どもから高齢者に至るまで、個々のニーズに対応できる
- ◆ 継続的に作業療法に必要な知識・技術を更新・研鑽し、専門性を追求できる

【MR（Mixed Reality）技術の活用】
※図中の番号は、患者さんが実際に見ている　デジタル映像

学びの特色

- ◆ 在宅シミュレーション実習室など最新の設備・環境における充実した学内実習
- ◆ 医学部・看護学部・理学療法学科（仮称）との合同授業による、チーム医療の実践的な学び
- ◆ 多様な疾患や幅広い年齢層に対応できる知識・技術を習得するための各専門領域に特化したカリキュラム
- ◆ アクティブラーニングを授業に積極的に取り入れ、主体的な学びを重視した教育内容

取得可能な資格

作業療法士国家試験受験資格

卒業後の進路先

- ◆ 病院・診療所
- ◆ 障害者支援施設
- ◆ 児童福祉施設
- ◆ 老人保健施設・デイケア
- ◆ 保健所
- ◆ 地域包括支援センター
- ◆ 就労支援事業施設
- ◆ 特別支援学校・教育委員会
- ◆ 介護予防・健康増進事業

上記は設置構想中のため、学部・学科名称、定員、取得できる資格、内容、学費などは変更となる場合があります。

資料 6-1

大阪地区理学療法士養成施設（４年制大学）における定員充足状況

都道府県	学　校　名	学　部　学　科　等　名	収容定員	在籍者数	充足率	所　在　地	備考
大阪	藍野大学	医療保健学部 理学療法学科	320	359	1.12	茨木市東太田4-5-4	2019年5月現在
大阪	大阪河崎 リハビリテーション大学	リハビリテーション学部 リハビリテーション学科理学療法学専攻	240	225	0.94	貝塚市水間158	2020年5月現在
大阪	大阪電気通信大学	医療福祉工学部 理学療法学科	190	215	1.13	四條畷市清瀧1130-70	2019年5月現在
大阪	大阪人間科学大学	人間科学部 理学療法学科	–	–	–	摂津市正雀1-4-1	非公表
大阪	大阪保健医療大学	保健医療学部 リハビリテーション学科理学療法学専攻	280	287	1.03	大阪市北区天満1-9-27	2020年5月現在
大阪	大阪行岡医療大学	医療学部 理学療法学科	–	–	–	茨木市総持寺1丁目1番41号	非公表
大阪	関西医療大学	保健医療学部 理学療法学科	240	250	1.04	泉南郡熊取町若菜2-11-1	2020年5月現在
大阪	関西福祉科学大学	保健医療学部 リハビリテーション学科理学療法学専攻	320	309	0.97	柏原市旭ヶ丘3-11-1	2020年5月現在
大阪	四條畷学園大学	リハビリテーション学部 リハビリテーション学科理学療法学専攻	160	162	1.01	大東市北条5-11-10	2019年5月現在
大阪	森ノ宮医療大学	保健医療学部 理学療法学科	260	273	1.05	大阪市住之江区南港北1-26-16	2019年5月現在
大阪	大和大学	保健医療学部 総合リハビリテーション学科理学療法学専攻	480	507	1.06	吹田市片山町2-5-1	2020年5月現在

各大学ホームページの公表資料による
＊大阪電気通信大学は学科ごとの在籍者数を公表していないため学部
＊＊大和大学については専攻ごとの収容定員及び在籍者数を公表していないため学科の数

収容定員 総数	在籍者 総数	充足率
2,490	2,587	1.04

※充足率は収容定員総数を在籍者総数で除したものである。
なお、非公表の大学については算入していない.

資料 6-2

大阪地区作業療法士養成施設（４年制大学）における定員充足状況

都道府県	学　校　名	学　部　学　科　等　名	収容定員	在籍者数	充足率	所　在　地	備考
大阪	藍野大学	医療保健学部 作業療法学科	160	181	1.13	茨木市東太田4-5-4	2019年5月現在
大阪	大阪河﨑 リハビリテーション大学	リハビリテーション学部 リハビリテーション学科作業療法学専攻	240	141	0.59	貝塚市水間158	2020年5月現在
大阪	大阪保健医療大学	保健医療学部 リハビリテーション学科作業療法学専攻	120	109	0.91	大阪市北区天満1-9-27	2020年5月現在
大阪	関西医療大学	保健医療学部 作業療法学科	120	122	1.02	泉南郡熊取町若菜2-11-1	2020年5月現在
大阪	関西福祉科学大学	保健医療学部 リハビリテーション学科作業療法学専攻	200	192	0.96	柏原市旭ヶ丘3-11-1	2020年5月現在
大阪	四條畷学園大学	リハビリテーション学部 リハビリテーション学科作業療法学専攻	160	108	0.68	大東市北条5-11-10	2019年5月現在
大阪	森ノ宮医療大学	保健医療学部 作業療法学科	160	185	1.16	大阪市住之江区南港北1-26-16	2019年5月現在
大阪	大和大学	保健医療学部 総合リハビリテーション学科作業療法学専攻	480	507	1.06	吹田市片山町2-5-1	2020年5月現在

各大学ホームページの公表資料による
＊大和大学については専攻ごとの収容定員及び在籍者数を公表していないため学科の数

収容定員 総数	在籍者 総数	充足率
1,640	1,545	0.94

※充足率は収容定員総数を在籍者総数で除したものである。
　なお、非公表の大学については算入していない.

資料 7

大阪地区理学療法士・作業療法士養成施設（４年制大学）における学納金他一覧

学　校　名	学　部　学　科　等　名	入学金	授業料	その他 （実習費他）	初年度合計
藍野大学	医療保健学部理学療法学科	250,000	1,150,000	550,000	1,950,000
	医療保健学部作業療法学科	250,000	1,150,000	550,000	1,950,000
大阪河﨑リハビリテーション大学	リハビリテーション学部リハビリテーション学科理学療法学専攻	280,000	1,150,000	420,000	1,850,000
	リハビリテーション学部リハビリテーション学科作業療法学専攻	280,000	1,150,000	420,000	1,850,000
大阪電気通信大学	医療福祉工学部理学療法学科	200,000	1,182,000	300,000	1,682,000
大阪人間科学大学	人間科学部理学療法学科	200,000	1,000,000	580,000	1,780,000
大阪保健医療大学	保健医療学部リハビリテーション学科理学療法学専攻	300,000	1,100,000	500,000	1,900,000
	保健医療学部リハビリテーション学科作業療法学専攻	300,000	1,100,000	500,000	1,900,000
大阪行岡医療大学	医療学部理学療法学科	300,000	1,000,000	600,000	1,900,000
関西医療大学	保健医療学部理学療法学科	200,000	1,200,000	400,000	1,800,000
	保健医療学部作業療法学科	200,000	1,200,000	400,000	1,800,000
関西福祉科学大学	保健医療学部リハビリテーション学科理学療法学専攻	200,000	1,100,000	400,000	1,700,000
	保健医療学部リハビリテーション学科作業療法学専攻	200,000	1,100,000	400,000	1,700,000
四條畷学園大学	リハビリテーション学部リハビリテーション学科理学療法学専攻	300,000	1,340,000	240,000	1,880,000
	リハビリテーション学部リハビリテーション学科作業療法学専攻	300,000	1,340,000	240,000	1,880,000
森ノ宮医療大学	保健医療学部理学療法学科	250,000	1,000,000	550,000	1,800,000
	保健医療学部作業療法学科	250,000	1,000,000	550,000	1,800,000
大和大学	保健医療学部総合リハビリテーション学科理学療法学専攻	180,000	1,550,000	0	1,730,000
	保健医療学部 総合リハビリテーション学科作業療法学専攻	180,000	1,550,000	0	1,730,000

各大学ホームページによる（令和2年3月現在）

上記大学における入学金等平均金額

入学金	授業料	その他	初年度合計
243,158	1,176,947	400,000	2,220,105

資料8

関西医科大学
「リハビリテーション学部 理学療法学科・作業療法学科」
※いずれも仮称／設置構想中
設置に係る人材需要の見通し調査
（新学部設置構想についての人材需要アンケート調査）
報告書

2020 年 2 月 5 日

株式会社 紀伊國屋書店
株式会社 高等教育総合研究所

目次

1.「新学部設置構想についての人材需要アンケート調査」概要 3

2.「新学部設置構想についての人材需要アンケート調査」集計結果 4

3.「新学部設置構想についての人材需要アンケート調査」集計結果のポイント １２

添付資料 １６

「新学部設置構想についての人材需要アンケート調査」

１.「新学部設置構想についての人材需要アンケート調査」概要

関西医科大学が 2021 年度、設置予定の「リハビリテーション学部　理学療法学科・作業療法学科（仮称・設置構想中）」における人材需要の見通しを測定するために、「新学部設置構想についての人材需要アンケート調査」（無記名式）を計 1,010 箇所に送付した。計 291 件の有効回答（アンケート調査用紙）を回収の上で集計した結果、以下の結果が得られた。

＜リハビリテーション学部（仮称）＞

- 「理学療法学科（仮称・入学定員 60 名を予定）」: 合計 40 箇所（※1）が関西医科大学が養成する理学療法士を「採用したい」とし、その上で提示された採用可能人数は合計 94 人であった。
- 「作業療法学科（仮称・入学定員 40 名を予定）」: 合計 53 箇所（※2）が関西医科大学が養成する作業療法士を「採用したい」とし、その上で提示された採用可能人数は合計 120 人であった。

※1：問 5 で理学療法士を「採用したい」とし、且つ採用可能人数を提示した事業者の数。
※2：問 5 で作業療法士を「採用したい」とし、且つ採用可能人数を提示した事業者の数。

調査対象	関西医科大学「リハビリテーション学部　理学療法学科・作業療法学科（仮称・設置構想中）」卒業生の採用が見込まれる近畿二府四県の病院と検診センター、通所・訪問リハビリテーション事業所、障がい者支援施設等、ならびに全国のスポーツ用品関連企業、合計 1,010 箇所を依頼対象とした。
調査内容	● 問 1～4：回答企業等の基本情報（業種、所在地、理学療法士・作業療法士の勤務人数および充足状況） ● 問 5～6：関西医科大学「リハビリテーション学部　理学療法学科・作業療法学科（仮称・設置構想中）」が養成する理学療法士・作業療法士についての採用意向及び採用可能人数、同学部に期待・要望する点について 以上、全 6 問で主に選択肢式。一部記述を含む。
調査時期	2019 年 10 月～2020 年 1 月
調査方法	調査対象先の採用担当者宛にアンケート調査用紙 1 部・依頼状・返送用封筒を送付した。ご協力いただける場合、回答済のアンケート調査用紙をご返送いただいた。
回収件数	有効回答数 291 件（配布 1,010 件に対し、回収率 28.8%）

２.「新学部設置構想についての人材需要アンケート調査」集計結果

※「構成比」(%）はいずれも、小数点第二位を四捨五入。

問１　**貴機関・貴施設**についてあてはまるものをお答えください。（あてはまるもの一つにチェックをお願いします）

選択項目	回答数	構成比
1.　病院・診療所	145	49.8%
2.　介護老人保健施設	89	30.6%
3.　特別養護老人ホーム	3	1.0%
4.　障がい者（児）施設	25	8.6%
5.　通所・訪問リハビリテーション事業所	3	1.0%
6.　地域包括支援センター	11	3.8%
7.　児童福祉施設	1	0.3%
8.　その他	13	4.5%
（無回答）	1	0.3%
合計	291	100%

問２　**貴機関・貴施設**の所在地をお答えください。（あてはまるもの一つにチェックをお願いします）

選択項目	回答数	構成比
1.　大阪府	135	46.4%
2.　京都府	30	10.3%
3.　兵庫県	71	24.4%
4.　奈良県	15	5.2%
5.　滋賀県	21	7.2%
6.　和歌山県	17	5.8%
7.　その他	1	0.3%
（無回答）	1	0.3%
合計	291	100%

問３　貴機関・貴施設において勤務される理学療法士・作業療法士の人数と、平成 31 年４月に入職・入社された新卒者人数をお答えください。（それぞれ該当する人材がおられる場合のみ人数をご記入ください）

【理学療法士】

勤務する人数

回答人数	回答数	人数合計
1	13	13
2	13	26
3	18	54
4	16	64
5	21	105
6	12	72
7	13	91
8	11	88
9	11	99
10	7	70
11	6	66
12	10	120
13	2	26
14	6	84
15	5	75
16	1	16
17	6	102
18	2	36
19	3	57
20	2	40
21	3	63
22	3	66
23	4	92
24	1	24
25	1	25
26	2	52
27	1	27
28	2	56
29	3	87

回答人数	回答数	人数合計
30	3	90
31	2	62
33	1	33
34	1	34
35	1	35
38	1	38
39	1	39
41	2	82
43	1	43
45	1	45
46	1	46
47	2	94
55	1	55
57	1	57
59	1	59
60	1	60
63	1	63
77	1	77
78	1	78
81	1	81
89	1	89
92	2	184
96	1	96
129	1	129
164	1	164
183	1	183
264	1	264
合計	231	4,076

＜上記の内、新卒者人数＞

回答人数	回答数	人数合計
1	26	26
2	24	48
3	13	39
4	8	32
5	7	35
6	5	30
7	2	14
8	3	24
9	1	9
10	2	20

回答人数	回答数	人数合計
11	1	11
13	2	26
14	1	14
15	2	30
17	1	17
18	1	18
28	1	28
40	1	40
合計	101	461

【作業療法士】

勤務する人数

回答人数	回答数	人数合計
1	27	27
2	35	70
3	25	75
4	23	92
5	22	110
6	14	84
7	9	63
8	14	112
9	6	54
10	6	60
11	4	44
12	6	72
13	4	52
14	4	56
15	3	45
17	5	85
18	1	18
19	2	38

回答人数	回答数	人数合計
20	2	40
21	3	63
23	1	23
24	1	24
25	2	50
26	2	52
27	1	27
28	2	56
30	1	30
31	1	31
32	1	32
33	5	165
57	1	57
76	1	76
86	1	86
100	1	100
合計	236	2,069

＜上記の内、新卒者人数＞

回答人数	回答数	人数合計
1	34	34
2	22	44
3	10	30
4	4	16
5	3	15
6	1	6

回答人数	回答数	人数合計
7	1	7
8	1	8
10	3	30
18	1	18
合計	80	208

問４ 貴機関・貴施設における理学療法士・作業療法士の充足状況についてお答えください。（それぞれ、あてはまるもの一つにチェックをお願いします）

選択項目	理学療法士		作業療法士	
	回答数	構成比	回答数	構成比
1. 不足している	31	10.7%	69	23.7%
2. やや不足している	71	24.4%	87	29.9%
3. 適度に充足している	135	46.4%	91	31.3%
4. 過剰である	1	0.3%	0	0.0%
5. 勤務する者はいない	46	15.8%	39	13.4%
（無回答）	7	2.4%	5	1.7%
合計	291	100.0%	291	100.0%

問 5～6 は関西医科大学「新学部設置構想」の概要を見た上での回答を求めた。

問５　貴機関・貴施設において、関西医科大学「リハビリテーション学部（仮称）」が養成する理学療法士・作業療法士を採用したいと思われますか。（それぞれ、あてはまるもの一つにチェックをお願いします）

選択項目	理学療法士		作業療法士	
	回答数	構成比	回答数	構成比
1.　採用したい	51	17.5%	70	24.1%
2.　採用を検討したい	93	32.0%	93	32.0%
3.　採用しない	45	15.5%	28	9.6%
4.　わからない	96	33.0%	96	33.0%
（無回答）	6	2.1%	4	1.4%
合計	291	100.0%	291	100.0%

（問５で）「採用したい」「採用を検討したい」の場合、よろしければ採用可能な人数をお答えください。

・「採用したい」と回答した貴機関・貴施設の採用可能人数

提示人数	理学療法士		作業療法士	
	回答数	人数合計	回答数	人数合計
1 人	17	17	18	18
2 人	13	26	19	38
3 人	3	9	7	21
4 人	1	4	2	8
5 人	4	20	7	35
6 人	0	0	0	0
7 人	0	0	0	0
8 人	1	8	0	0
9 人	0	0	0	0
10 人	1	10	0	0
「採用したい」を選んだが、採用可能人数は無回答	11	0	17	0
合計	51	94	70	120

・「採用を検討したい」と回答した貴機関・貴施設の採用可能人数

提示人数	理学療法士		作業療法士	
	回答数	人数合計	回答数	人数合計
1 人	50	50	58	58
2 人	13	26	11	22
3 人	2	6	1	3
4 人	0	0	0	0
5 人	1	5	1	5
6 人	0	0	0	0
7 人	0	0	0	0
8 人	0	0	0	0
9 人	0	0	0	0
10 人	0	0	0	0
「採用を検討したい」を選んだが、採用可能人数は無回答	27	0	22	0
合計	93	87	93	88

問６ 関西医科大学「リハビリテーション学部 （仮称)」について期待される点、ご意見・ご要望等がありましたら、ご自由にご記入ください。（自由記述となります)

※ 65 箇所から回答を得た。以下、回答内容を掲載（原文通り）。順不同。【】内は【機関・施設/所在地】を示す。

1.	是非、立派な人材を育ててください。【病院・診療所/大阪府】
2.	老健の運営方針によって PT、OT の配置数が変更となるため、現時点での採用枠は不明とさせて頂いた。【介護老人保健施設/大阪府】
3.	生活期に対する教育の単位数が少ない傾向にあるので地域でのリハビリテーションの面白さや役割について学生が興味をもって頂けるようにして頂きたいです。【介護老人保健施設/大阪府】
4.	今後、PT、OT の採用を検討する場合には貴大学に依頼することがあるかもしれませんので今後ともよろしくお願いします。【障がい者(児)施設/大阪府】
5.	言語聴覚士の育成も検討頂けましたら幸いです。【介護老人保健施設/兵庫県】
6.	危険予知ができる急変時対応の手段を身につけて欲しい。IT を駆使するのは非常に良いと思うが基礎に徒手技術をもっておいてほしい。【介護老人保健施設/大阪府】
7.	新卒の学生を育てられる環境にありません。【介護老人保健施設/滋賀県】
8.	就職ガイダンスや求人プレゼンの機会があれば参加したい。実習生を受け入れたい。【介護老人保健施設/大阪府】
9.	採用するにあたっては実践でどの程度学習要領、実習要領が身についているかにより合否はかわります。意欲のない人材はそもそも不用です。向上心のない人材も不用です。【病院・診療所/滋賀県】
10.	地域包括支援センターはセラピストの配置義務がないので上記のようなアンケートの返答になっております。スキルの高い人材育成を期待しております。【地域包括支援センター/大阪府】
11.	法人全体では１５０名を超えるリハ専門職が勤務しております。医療機関等では充足していますが、地域ではまだまだ不足している様に思います。マインドをしっかり持ち合わせた人材の育成に期待します。【障がい者(児)施設/兵庫県】
12.	良い人材の育成【病院・診療所/大阪府】
13.	手技だけではなく、患者、利用者を明るく心から元気にすることができるコミュニケーション能力を備えた人材を育成して欲しいと思います。【地域包括支援センター/大阪府】
14.	ST の採用に苦慮しています。【病院・診療所/大阪府】
15.	精神科での活躍【病院・診療所/兵庫県】
16.	OT になりたい！という思いが年々強く育っていくような学校作りに期待します。【病院・診療所/京都府】
17.	今年度(2020 年 4 月採用)より、新卒採用を毎年行う予定です。採用だけでなく、学生時から生徒の皆さんと接点を持ち、なりたいセラピスト像や社会人像を一緒に考えていく関わりができれば大変嬉しく思います。※医療法人(５事業所)で回答しています。【病院・診療所/大阪府】
18.	いつもお世話になってます。理学療法士・作業療法士の配置基準がありません。すみません。【地域包括支援センター/大阪府】

19.	老健でやってみたいと思う学生が増える事【介護老人保健施設/兵庫県】
20.	御校の育成したセラピストの実際が理解、評価されるまでは時間が必要かと感じます。今日の環境から考え、やや育成校もシュリンク気味ではないか？その中での新設には注目はしています。【介護老人保健施設/滋賀県】
21.	当法人から貴学は地理的にも遠く、求められる像も異なるため採用活動ではご縁がないものと思われます。理学療法よりも今後作業療法のニーズが増加すると思われます。貴学のますますのご発展を祈念しています。【障がい者(児)施設/奈良県】
22.	テクノロジーが発展してもそれを使いこなせる人材の育成が必要。医学部との合同授業はお互いにとって魅力的。【病院・診療所/京都府】
23.	利用者の方を 1 人でも在宅に復帰していただき、家族での生活が 1 日でも長く続けて頂けるように支援して行きたいと思いますので、リハビリテーション学部の新設は大変期待しております。今後活躍が期待される言語療法士の学部の創設もご検討をお願い致します。【介護老人保健施設/大阪府】
24.	新入職人に即戦力は望めないので「素直」が一番です。理学療法士の養成校は、近畿に多くあるので、奈良の田舎の我々の病院にも就職してもらえるようになりました。そのことを考えるともうすぐ、供給が需要を越える日も近いと思います。作業療法士は不足していますが、理学療法士の養成校に学生を取られ養成校への入学希望者が少ない状況です。これからの新設する養成校の未来が明るいとは思えないです。【病院・診療所/奈良県】
25.	作業療法士の採用に難渋しております。是非お力添えをいただきたく存じます。【病院・診療所/大阪府】
26.	利用者様と直接関わる専門職として、また、多職種連携が必要とされる施設において、専門性はもちろん、コミュニケーション力を兼ね備えた人材の育成を期待します。【介護老人保健施設/滋賀県】
27.	医学部、看護学部も有する大学において多職種協働の意識をもった人材が育ってくれるのでないかと期待します。知識・技術だけでなく人間力も育んでいただけるカリキュラムを希望します。【介護老人保健施設/大阪府】
28.	西日本は PT、OT が充足しており、就職難になってきつつあると思います。西日本（関西以外）の方が関西や関東に就職しています。昨年、多数の大学が新設されましたが 5 年後、10 年後は就職は厳しいと思います。【病院・診療所/和歌山県】
29.	常勤として、診療所勤務を希望される PT が少ないのが現状です。【病院・診療所/大阪府】
30.	当法人は急性期、回復期、老健、有料老人チーム等の病院施設を運営しております。特に回復期（東生駒病院）は毎年数多くの新人職員の受入をしております。また、急性期、回復期、老健で実習生の受入をしております。※上記は当施設での受入人数です。【介護老人保健施設/奈良県】
31.	急性期病院を入職希望する作業療法士が極めて少ないため、急性期病院を就職先病院の候補に考えてくれるような学生の養成を期待したい。【病院・診療所/兵庫県】
32.	これからもリハビリは高齢者の生きがいになると思うので需要はあるので宜しくお願いします。【特別養護老人ホーム/奈良県】
33.	大阪での医療を医師の先生方をはじめリハビリテーションへの帰与は大きいと考えております。医療の発展のために尽力された学校ですので、リハビリテーション分野での活躍される学生の輩出に期待しております。【病院・診療所/大阪府】

34.	専門職としての知識習得はもちろんのこと、社会人としての一般常識なども身につけて頂きたい。【病院・診療所/奈良県】
35.	採用人数は合計で PT5 名、OT5 名程度【病院・診療所/大阪府】
36.	学術的な領域の臨床へのフィードバック。具体的には講演会や卒後教育などに期待いたします。【介護老人保健施設/兵庫県】
37.	問 5 の採用可能人数はわかりません。職員採用試験（公募）が必要です。【病院・診療所/兵庫県】
38.	作業療法士は急性期病院で不足しています。理学療法士はどこの病院も充足していると思います。是非作業療法士中心の育成を期待しています。【病院・診療所/奈良県】
39.	リハビリ学を追求する余りなのか、協調性がない方や常識にとらわれない方が多く、対応に困ることが多々あります。接遇や協調性を身につける授業も取り入れていただけると幸いです。【介護老人保健施設/大阪府】
40.	医学部と看護の仕事を理解した人格･学力共に高いレベルの人材を教育できる機関となることを望みます。【病院・診療所/大阪府】
41.	臨床で応用できる適応能力を持つ学生。前向きに問題に取り組む学生を育てていきたいと思います。宜しくお願い致します。【その他/大阪府】
42.	理学療法士は、各学校数が多く、現在も採用希望者はいますが採用を控えているのが現状です。作業療法士に関しては不足感があり出来れば PT より OT の定員を増やして頂きたいです。PT に関して、大幅に余っている感じがします。【介護老人保健施設/京都府】
43.	すみません当地域包括センターのため、PT、OT に関してのアンケートを出されても答えようありません。すみません。【地域包括支援センター/大阪府】
44.	地域包括支援センターはリハビリスタッフ必置ではないため、当法人の方針としても配置にはならないと考えます。ただ、連携する機関にリハビリスタッフが多いのは心強いです。【地域包括支援センター/大阪府】
45.	最近保険外での自費によるリハビリを行う理学療法士さんが多く存在しておりますが、医療介護制度内で活躍できる人材を育てていただきたい。【介護老人保健施設/兵庫県】
46.	問 5 については、県立病院一括採用なので「わからない」としました。採用試験がありましたら貴学へも情報提供させて頂きますので宜しくお願いします。【病院・診療所/兵庫県】
47.	いずれも人に対するお仕事ですので技術的な事も大切ですが、まず第一にその相手に「寄り添える心」を大切にする人を育てていただきたいです。【通所・訪問リハビリテーション事業所/滋賀県】
48.	すばらしい施設で、優れた人材が育成されることを期待します。【障がい者(児)施設/滋賀県】
49.	作業分析ができてきちんと作業が行える OT を養成してほしい。精神科 OT の授業を軽視せず、評価する力を養っていってほしい。OT の質を劣化させるような学生はいらない。定員をうめるためにレベルの低い学生を入学させて国試だけ通らせる様な教育をして卒業させることだけはやめて欲しい。【病院・診療所/大阪府】
50.	医療的リハビリだけではなく、日常生活にそくした訓練や集団での訓練に対応（社会的リハビリの一環として）を出来るリハスタッフが欲しい。【障がい者(児)施設/奈良県】

51.	医学部、看護学部との合同講義によるチーム医療への視点、急性期病院の附属学科としてその立場をもとにした在宅医療、在宅生活への視点、病院と在宅生活への連携への視点。治療、改善、回復の視点だけではなく QOL にも重きをおいた対応ができるような専門職の育成など【その他/大阪府】
52.	当法人が運営する障がい福祉サービスには PT,OT の配置基準はなく、PT、OT の募集は行っていないのが現状です。障がい福祉サービスにたずさわりたい地域に出て活躍したいなど、ご本人の希望で来られた方はその専門性を活かしていただける現場であるとは考えているので採用ポイントになると思います。【その他/和歌山県】
53.	定期的な人員補充ができないが、欠員が生じた際は採用でお世話になりたいと思います。【病院・診療所/大阪府】
54.	当センターの状況のみ回答しました。募集がある場合は兵庫県職員として病院局より採用案内をさせていただいております。PT・OT が所属する施設は 8 病院 2 施設。PT77 名、OT38 名が所属しております。【病院・診療所/兵庫県】
55.	全人的教育をしていただきたいです。リハビリテーションは、その方の人生を決定すると考えておりますので。【病院・診療所/大阪府】
56.	老健であるため、新人から志をもって生活期に関わりたいと考える学生さんが来てくれるとありがたいです。これからはリハビリテーションが生活期で活躍していく時代なので、生活期に関心がもてる、人の暮らしを支えれる学生さんが増えることを期待しています。【介護老人保健施設/奈良県】
57.	問 4 で答えたように当院では適度に充足している状況であり退職者が出る等がなければなかなか求人は出さない状態です。【病院・診療所/大阪府】
58.	当施設は医療法人尚和会系列の施設であり、療法部に関する人事の統括を本部である宝塚リハビリテーション病院の療法部長が行っております。今後とも当法人を宜しくお願い致します。【介護老人保健施設/兵庫県】
59.	いつもお世話になっております。今後ともどうぞよろしくお願いします。【介護老人保健施設/大阪府】
60.	希望はチーム医療の大切さを理解してくれる人材です。【病院・診療所/大阪府】
61.	今後、在宅および老健の重要性は高まることが予測されます。そのため、人員の増員と教育の視点から積極的に実習生の受入と採用を行っています。【介護老人保健施設/大阪府】
62.	貴校から輩出されます理学療法士、作業療法士の方々が臨床場面におきまして、患者さん、多職種の方々としっかりとコミュニケーションをとって頂ける人材でありますことを大変期待しております。また、研究にも興味をもっていただけますと嬉しく思います。【病院・診療所/京都府】
63.	セラピストの採用は医療法人清水会の法人本部で一括に行っておりますので、そちらなら問 5 にお答えできると思います。毎年 10～20 名ほどのセラピストを採用しています。【介護老人保健施設/京都府】
64.	高度な知識と技術を兼ね備えた上で、患者様に寄り添える人材育成を期待しています。【病院・診療所/大阪府】
65.	利用者の方を 1 人でも在宅に復帰していただき、家族での生活が一日でも長く続けていただけるように支援して行きたいと思いますので、リハビリテーション学部の新設は大変期待しております。今後活躍が期待される言語療法士の学部の創設もご検討をお願い致します。【介護老人保健施設/大阪府】

３.「新学部設置構想についての人材需要アンケート調査」集計結果のポイント

※「構成比」（％）はいずれも、小数点第二位を四捨五入。

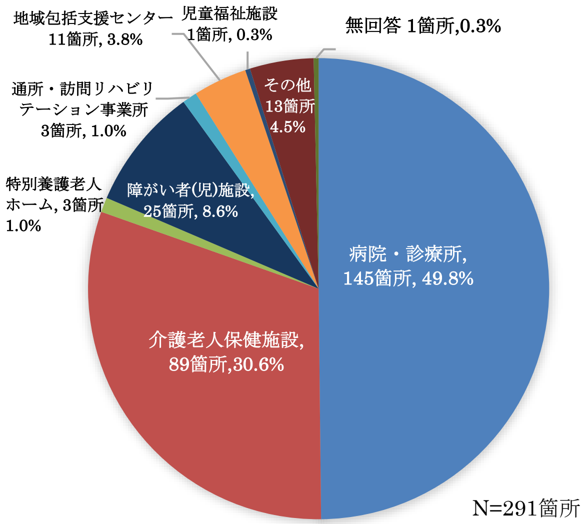
Point 1	理学療法士・作業療法士が活躍する、大阪府を中心とした近畿二府四県の病院・診療所、介護老人保健施設等、合計 291 箇所が回答。内、理学療法士は 102 箇所、作業療法士は 156 箇所が不足との認識。

関西医科大学が 2021 年度、設置予定の「リハビリテーション学部　理学療法学科・作業療法学科（仮称)」に係る「新学部設置構想についての人材需要アンケート調査」において返送を得た有効回答 291 件の集計を行った。その結果、施設種別でみた場合、最も回答数が多かったのは「病院・診療所」で 145 箇所（全体の 49.8%）であった。以下、「介護老人保健施設」89 箇所（同 30.6%)、「障がい者（児）施設」25 箇所（同 8.6%)、「地域包括支援センター」11 箇所（同 3.8%)、「特別養護老人ホーム」、「通所・訪問リハビリテーション」各 3 箇所（同 1.0%)、「児童福祉施設」1 箇所（同 0.3%）であった。また、所在地（本社・主たる事業所等）については、最も回答が多かったのは大学の所在地である「大阪府」が 135 箇所（同 46.4%）で全体の半数近くを占めた。

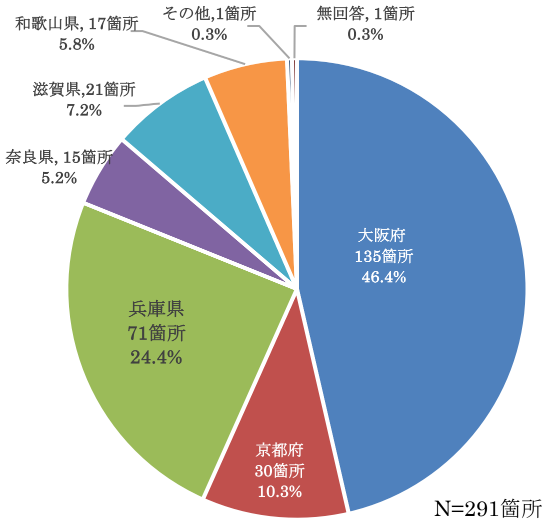
現在勤務する理学療法士・作業療法士の人数については、理学療法士が 4,076 人（うち、新卒者は 461 人)、作業療法士が 2,069 人（うち、新卒者は 208 人）であった。

充足状況については、理学療法士が「不足している」が 31 箇所（同 10.7%)、「やや不足している」が 71 箇所（同 24.4%)、で、合計すると 102 箇所（同 35.1%）が理学療法士は不足していると回答した。また、作業療法士が「不足している」が 69 箇所（同 23.7%)、「やや不足している」が 87 箇所（同 29.9%）で、合計すると 156 箇所（同 53.6%）が作業療法士は不足していると回答した。

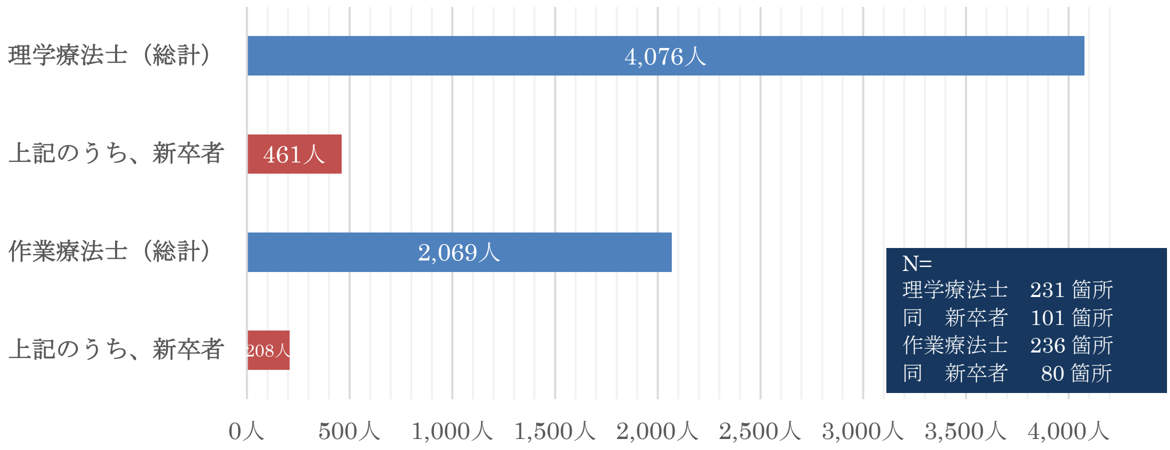
回答元の種類 ＜問１結果より＞



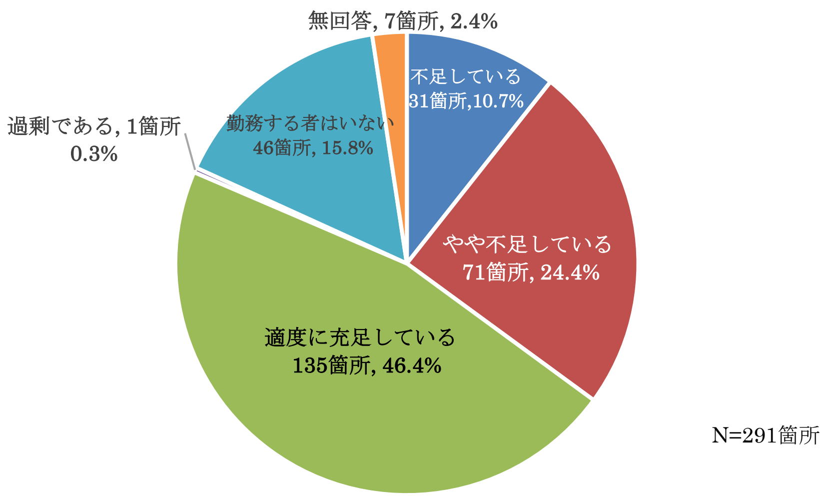
所在地 ＜問２結果より＞



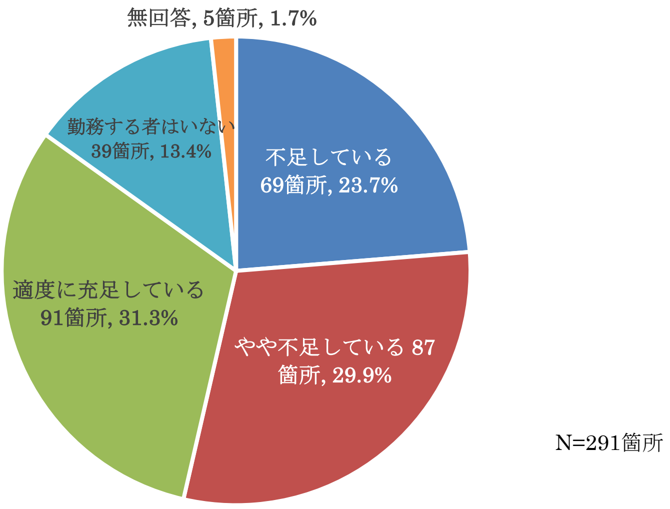
勤務する理学療法士・作業療法士の人数 ＜問 3 結果より＞



理学療法士の充足状況 ＜問 4 結果より＞



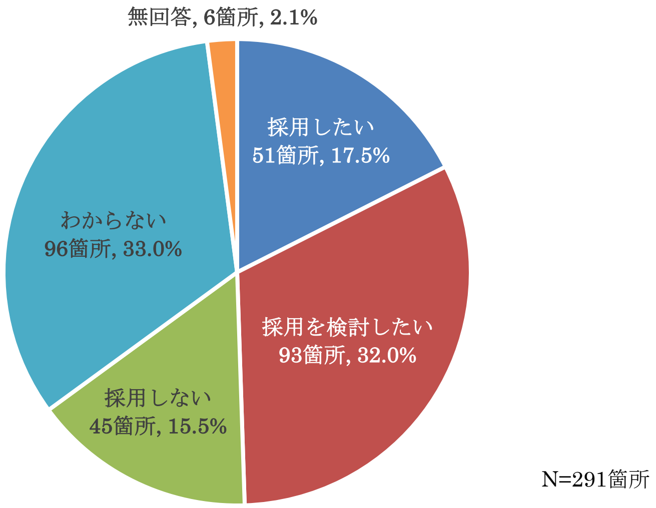
作業療法士の充足状況 ＜問 4 結果より＞



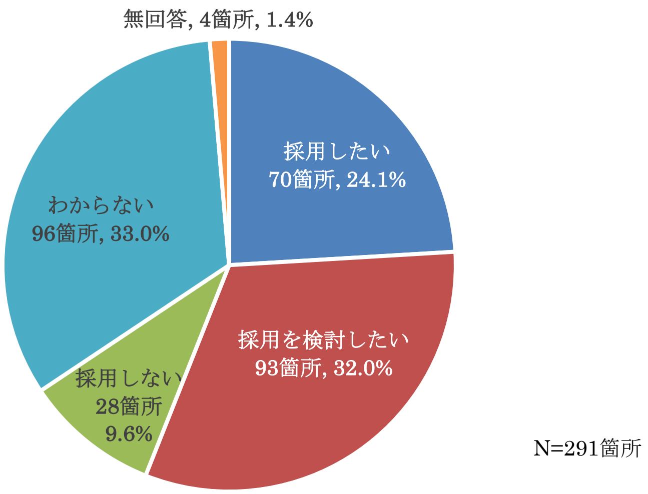
Point 2	理学療法士は「理学療法学科(仮称)」の入学定員 60 名(予定)に対して約 1. 6 倍の 94 名、作業療法士は「作業療法学科(仮称)」の入学定員 40 名(予定)に対して 3 倍の 120 名の採用意向が示される。

関西医科大学が設置予定の「リハビリテーション学部　理学療法学科・作業療法学科（仮称）」の概要を示し、養成する人材の採用意向について回答を求めた。その結果、51 箇所（同 17.5%）が「リハビリテーション学部　理学療法学科（仮称）」が養成する理学療法士を「採用したい」と回答した。その上で提示された採用可能人数は合計 94 人（入学定員 60 名の約 1.6 倍）であった。また、70 箇所（24.1%）が「リハビリテーション学部　作業療法学科（仮称）」が養成する作業療法士を「採用したい」と回答した。その上で提示された採用可能人数は合計 120 人（入学定員 40 名の 3 倍）であった。

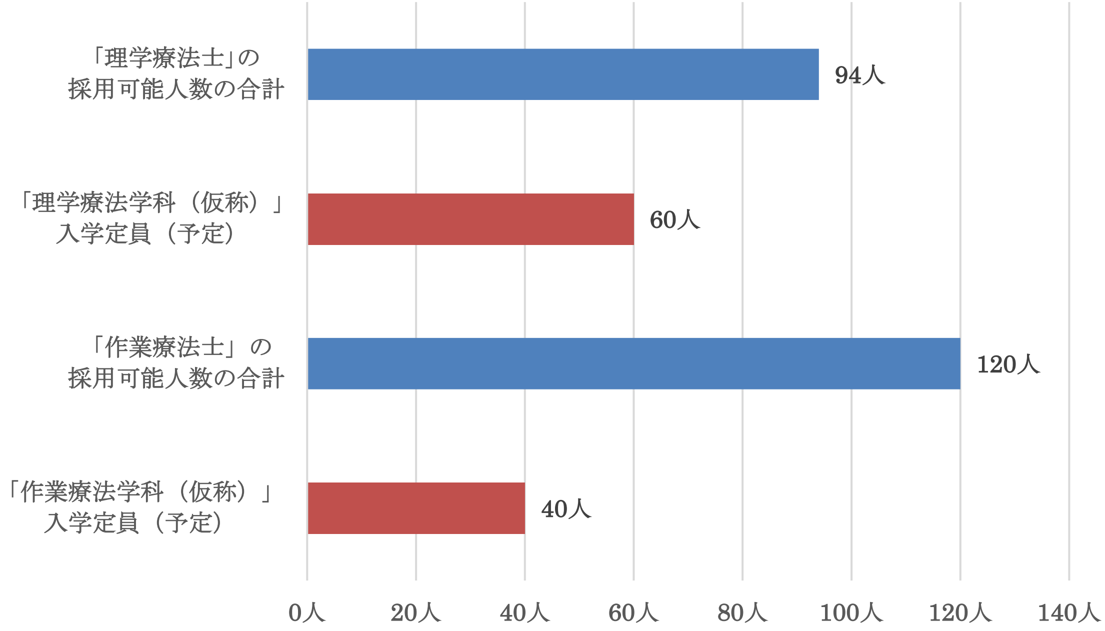
養成する理学療法士の採用意欲 ＜問 5 結果より＞



養成する作業療法士の採用意欲 ＜問 5 結果より＞



養成する理学療法士・作業療法士の採用可能人数 ＜問 5 結果より＞



N=
理学療法士を「採用したい」とし、人数提示した 40 箇所
作業療法士を「採用したい」とし、人数提示した 53 箇所

【添付資料】

「新学部設置構想についての人材需要アンケート調査」

関西医科大学

リハビリテーション学部(理学療法学科・作業療法学科)

2021 年 4 月開設予定　設置構想中　**※学部・学科名称はすべて仮称**

新学部設置構想についての人材需要アンケート調査

（対象：人事・採用ご担当者様）

関西医科大学は牧野キャンパス(仮称・大阪府枚方市宇山東町 18 番 89 号)に「リハビリテーション学部 理学療法学科・作業療法学科(いずれも仮称)」の 1 学部 2 学科を 2021 年 4 月に開設することを構想しております。

本学ではこのアンケート調査を通して、将来新学部の卒業生の採用をご検討いただく皆様からのご意見をお聞きし、「リハビリテーション学部 理学療法学科・作業療法学科(いずれも仮称)」の構想内容に反映したいと考えています。

なお、回答いただいた内容は統計処理され、個人が特定されることはありません。また集計結果は関西医科大学の「リハビリテーション学部 理学療法学科・作業療法学科(いずれも仮称)」の設置構想に係る統計資料としてのみ活用いたします。

アンケート調査へのご協力を、よろしくお願い申し上げます。

※このアンケート調査は関西医科大学から委託された第三者機関(株式会社紀伊國屋書店・株式会社高等教育総合研究所)が実施しています。

記入例を参考にご回答ください。　正しい　誤り　正しい　誤り

問１　貴機関・貴施設についてあてはまるものをお答えください。（あてはまるもの一つにチェックをお願いします）

- 病院・診療所
- 介護老人保健施設
- 特別養護老人ホーム
- 障がい者(児)施設
- 通所・訪問リハビリテーション事業所
- 地域包括支援センター
- 児童福祉施設
- その他［　　　　］

問２　貴機関・貴施設の所在地をお答えください。（あてはまるもの一つにチェックをお願いします）

- 大阪府
- 京都府
- 兵庫県
- 奈良県
- 滋賀県
- 和歌山県
- その他［　　　　］

問３　貴機関・貴施設において勤務される理学療法士・作業療法士の人数と、平成 31 年 4 月に入職・入社された新卒者人数をお答えください。（それぞれ該当する人材がおられる場合のみ人数をご記入ください）

【理学療法士】勤務する人数 □□ 人　内、平成 31 年 4 月に入職・入社した新卒者人数 □□ 人

【作業療法士】勤務する人数 □□ 人　内、平成 31 年 4 月に入職・入社した新卒者人数 □□ 人

問４　貴機関・貴施設における理学療法士・作業療法士の充足状況についてお答えください。
（それぞれ、あてはまるもの一つにチェックをお願いします）

【理学療法士】　〇 不足している　〇 やや不足している　〇 適度に充足している　〇 過剰である　〇 勤務する者はいない

【作業療法士】　〇 不足している　〇 やや不足している　〇 適度に充足している　〇 過剰である　〇 勤務する者はいない

問５以降は別紙 関西医科大学 新学部設置構想の概要（別紙リーフレット） を
ご覧の上でお答えください。

問５　貴機関・貴施設において、関西医科大学「リハビリテーション学部(仮称)」が養成する理学療法士・作業療法士を採用したいと思われますか。（それぞれ、あてはまるもの一つにチェックをお願いします）

【理学療法士】　〇 採用したい　〇 採用を検討したい　〇 採用しない　〇 わからない

「採用したい」「採用を検討したい」の場合、よろしければ採用可能人数をお答えださい。□□人

【作業療法士】　〇 採用したい　〇 採用を検討したい　〇 採用しない　〇 わからない

「採用したい」「採用を検討したい」の場合、よろしければ採用可能人数をお答えださい。□□人

問６　関西医科大学「リハビリテーション学部（仮称）」について期待される点、
ご意見・ご要望等がありましたら、ご自由にご記入ください。（自由記述となります）

質問は以上となります。ご協力いただき、ありがとうございました。

２０２１年４月

関西医科大学
KANSAI MEDICAL UNIVERSITY

リハビリテーション学部

（仮称・設置構想中）

誕生

理学療法学科・作業療法学科

(仮称・設置構想中)

牧野キャンパス（仮称）
リハビリテーション学部（仮称）
校舎完成予想図

この「概要」をご覧の上、

人材需要アンケート調査にご回答ください。

上記は設置構想中のため、学部・学科名称、定員、取得できる資格、内容、学費などは変更となる場合があります。

２０２１年４月、関西医科大学に新たに開設予定の学部・学科

リハビリテーション学部　仮称・設置構想中

理学療法学科　仮称・設置構想中

入学定員60人（収容定員240人）／学位：学士（理学療法学）

作業療法学科　仮称・設置構想中

入学定員40人（収容定員160人）／学位：学士（作業療法学）

リハビリテーション学部（理学療法学科・作業療法学科）では、現代のリハビリテーション医療で求められる高度な知識と専門的技術を身につけた人材の育成を目指します。

1. 先進医療と先端テクノロジー教育の学び
2. 医学部・看護学部との合同講義によるチーム医療の学び
3. 附属病院をはじめとする関連医療機関で臨床実習を通じた、救急医療から在宅医療までのさまざまな医療現場での実践的な学び

理学療法学科

養成する人物像

- ◆ 高度なテクノロジーを駆使した先端的な理学療法技術を習得している
- ◆ 多職種間で連携し、理学療法の専門性を発揮してチーム医療に貢献することができる
- ◆ 高度先進医療から地域生活までの幅広い現場で、多様な病態やニーズに対応できる
- ◆ グローバルな視点をもって研究や臨床で幅広く活躍できる

学びの特色

- ◆ ロボット技術など先端テクノロジーを活用した理学療法実践の学び
- ◆ 医学部・看護学部・作業療法学科（仮称）との合同授業による、チーム医療の実践的な学び
- ◆ 附属病院や関連実習施設における、高度先進医療から在宅支援までの幅広い現場での学び
- ◆ 国際レベルで活躍するための科学的思考やコミュニケーション能力を養うカリキュラム

取得可能な資格

理学療法士国家試験受験資格

卒業後の進路先

- ◆ 病院・診療所
- ◆ 老人保健施設・デイケア
- ◆ スポーツ現場
- ◆ 介護予防・健康増進事業
- ◆ 行政機関
- ◆ 保健所
- ◆ 地域包括支援センター
- ◆ 医療・健康関連企業
- ◆ 教育・研究機関

作業療法学科

養成する人物像

- ◆ 人の健康・生活に全般に関する応用的思考を有している
- ◆ 多職種間で連携し、作業療法の専門性を発揮してチーム医療に貢献することができる
- ◆ 子どもから高齢者に至るまで、個々のニーズに対応できる
- ◆ 継続的に作業療法に必要な知識・技術を更新・研鑽し、専門性を追求できる

学びの特色

- ◆ 在宅シミュレーション実習室など最新の設備・環境における充実した学内実習
- ◆ 医学部・看護学部・理学療法学科（仮称）との合同授業による、チーム医療の実践的な学び
- ◆ 多様な疾患や幅広い年齢層に対応できる知識・技術を習得するための各専門領域に特化したカリキュラム
- ◆ アクティブラーニングを授業に積極的に取り入れ、主体的な学びを重視した教育内容

取得可能な資格

作業療法士国家試験受験資格

卒業後の進路先

- ◆ 病院・診療所
- ◆ 障害者支援施設
- ◆ 児童福祉施設
- ◆ 老人保健施設・デイケア
- ◆ 保健所
- ◆ 地域包括支援センター
- ◆ 就労支援事業施設
- ◆ 特別支援学校・教育委員会
- ◆ 介護予防・健康増進事業

上記は設置構想中のため、学部・学科名称、定員、取得できる資格、内容、学費などは変更となる場合があります。